

vol.40 july. 2023



拓海

「海」を切り開く匠の業と心

CONTENTS

2023年 出会い	
入学特集	
入学・進学のみなさんへ	3
在学生から新入生のみなさんへ	7
先輩留学生から新入生のみなさんへ	11
大学での学び方	12
卒業生より 業界で活躍しているOB・OGの方々	19
新任教員の紹介	21
学生会報告書	24
大学祭特集 海王祭の紹介	25
ニュース&トピックス	26
就職情報	29
学生相談室からのお知らせ	33
お知らせ	36

◆2023年 出会い

■入学特集

◎入学・進学のみなさんへ

- 「内在性レトロウイルス」 井関 俊夫……③
 新入生の皆さんへ 後藤 直宏……④
 入学・進学のみなさんへ 元田 慎一……⑤
 生徒から学生へ 宮本 佳則……⑤
 大学院の研究、「どこから
 はじめればよいのですか？」 兵藤 哲朗……⑥

◎在学生から新入生のみなさんへ

- 新入生の皆さんへ 鬼沢 侑希……⑦
 海洋大生よ、変人たれ 近藤 楓……⑦
 新入生の皆様へ 志村美奈子……⑧
 新入生の皆さんへ 野口 龍太……⑨
 今しかできないこと 平野 武……⑨
 学生生活を楽しむために 平山 創悟……⑩
 伝統ある海洋大へ ライト富博……⑩

◎先輩留学生から新入生のみなさんへ

- 先輩留学生から新入生へ 王 春森……⑪

■大学での学び方

◎学科の特色ある講義・実験の紹介

- 魚食文化論～魚との豊かな付き合い方を考える
 中原尚知・婁小波・川辺みどり……⑫
 海事システム工学実験演習におけるソーナー実験
 近藤 逸人……⑬

◎実習感想記

- 乗船実習体験記 梶 綾馬……⑭
 海洋学実習Ⅰ感想 宝迫 美央……⑭

◎資格取得に向けて

- 『東京海洋大学における資格取得の勧め』
 古城 光……⑮

◎大学院で学べること

- 食機能保全科学専攻 大迫 一史……⑯
 応用環境システム学専攻 渡部 大輔……⑰

◎卒業論文・修士論文への取り組み方

- 卒業論文への取り組み方 上田 理智……⑱
 修士論文の取り組み方 梁 弘基……⑱

■業界で活躍しているOB・OGの方々

- おもちゃの技術開発 伊藤 大智……⑲
 「コロナ禍を乗り越えて」 辻 珠実……⑲

■新任教員の紹介

- 海洋政策文化学部門 猪又 秀夫……⑳
 海洋政策文化学部門 廖 凱……㉑
 海洋電子機械工学部門 吉岡 哲也……㉒
 流通情報工学部門 田上 悠太……㉒
 水圏科学フィールド教育研究センター
 松本有記雄……㉓

■学生会報告書

- 海洋工学部学生会……㉔

■大学祭特集

- 海王祭の紹介 ライト富博……㉕

■ニュース&トピックス

- 令和4年度3月期学生表彰授与式、学業優秀
 学生奨学金授与式、学会等各賞表彰式を
 行いました（令和5年3月23日）……㉖
- 令和4年度3月期学位記・修了証書授与式を
 行いました……㉗
- 令和5年度入学式を挙行了しました……㉘

■就職情報

- 令和4年度卒業者の就職先……㉙

■学生相談室からのお知らせ

- 学生相談室について……㉚
- 令和5年度学生支援教員……㉛
- 本学の学生相談体制について……㉜

■お知らせ

- 交換留学をしてみませんか？……㉝
- 国立科学博物館および
 国立美術館の利用について……㉞
- 緊急時連絡システムについて……㉟
- ネットワーク障害防止のための注意事項……㊱
- 東京海洋大学校友会のご案内……㊲
- 掲示板……㊳

2023年 出会い

入学特集

入学・進学のみなさんへ

「内在性レトロウイルス」

学 長
井 関 俊 夫

新学期が始まって早くも3ヶ月ほど経ちました。新型コロナウイルスの5類移行もあり、都内に限らず多くの観光地は賑わいを取り戻したようです。新入生の皆さんも新しい生活に慣れてきて、勉強や課外活動で充実した毎日をお過ごしているのではないのでしょうか。是非、3年ぶりに戻って来た制限なしのキャンパス生活を謳歌して欲しいと思います。その一方で、ウイルスの感染力や病原性が変わったわけではありませんし、夏頃には第9波がやって来るといった情報もありますので、油断することなく、自主的な感染防止対策の継続をお願いします。

さて、コロナ禍の3年間で私たちはウイルスやワクチンに関する多くの情報を得てきたと思います。私自身も、いろいろな解説などを読み、人類とウイルスの戦いの歴史を知り、ワクチン開発における科学技術の進歩に強い感銘を受けました。調べていくうちに、ネットの情報だけでは物足りなくなったので、好奇心を満たしてくれそうな本^{*}を購入して読んでみました。非常に興味深かったのは、人類の進化にウイルスが大きく関与している可能性があることでした。ヒトゲノムの中には、内在性レトロウイルスと呼ばれる部分があり、それはかつてレトロウイルスが人類の生殖細胞に感染した痕跡であり、遺伝によって私たちに脈々と受け継がれているそうです。レトロウイルスとは、感染すると自分の情報を宿主のDNAに追加してしまうRNA型ウイルスのことで、「レトロ」とはラテン語で「逆の」という意味だそうです。通常の細胞内では、DNA（体の設計図）の一部をコピー（転写）して、RNA（手順書）を作り、それを基にタ



ンパク質を合成するという流れをとりますが、レトロウイルスは自分のRNAを宿主のDNAに変換（逆転写）してしまうそうです。ちなみに、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）や成人T細胞白血病を引き起こすウイルス（HTLV）もレトロウイルスの一種ということで、思わず身構えてしまいますが、人類の進化に寄与したレトロウイルスが居たことは全く驚きです。最も興味深い例として、2500万年から3000万年前に感染したレトロウイルスによって、ほ乳類の胎盤が発達した可能性があることが挙げられていました。一方で、オーストラリア大陸では、このレトロウイルスから隔離されていたために、コアラやカンガルーなどの有袋類が繁栄した可能性があるということでした。ちなみに、ヒトゲノムのDNA情報のうち遺伝子と呼ばれる部分は1.5%程度であるのに対し、内在性レトロウイルスの情報は9%以上存在して

いるそうで、人類進化の壮大な歴史が秘められていると感動しました。

話は大きく変わりますが、私たち個人々々の考え方にも内在性レトロウイルスのようなものがあると思います。これまで私たちは数多くの人に出会い、良いものや悪いものを含めて種々の影響を受け、自分の信条や信念を形成してきたと思います。「あの人のように成りたい」や「あの人のようには絶対成らない」などのように感じることは、目標とすべき人物像を修正する契機となり、自分自身の設計図に「逆転写」されたことと同じような意味があると思います。

こじつけにはなりますが、新入生や進学生の皆さんはこれからの新しい大学生活の中で、自分に様々な影響を与えるレトロウイルスと呼ぶべきものに出会うかも知れません。中には対応に悩むこともあるでしょう。その場合は、迷わず学生相談室に行ってください。それとは反対に、皆さんに進化をもたらすレトロウイルスに遭遇する機会も数多くあると思います。東京海洋大学のいろいろな先生や先輩、友人と接することによって、感銘を受けたり、感動・共感したりして、「自分も同じように頑張ろう」と決意するときが必ずやって来ます。それはまさに、皆さん自身の個性（DNA）に「海洋大気質」が追加される瞬間です。そして、それは皆さんの精神構造の遺伝子に組み込まれた記憶となって、考え方や行動を進化させることとなります。進化した皆さんは後輩達に影響を与え、「海洋大気質」を遺伝させることになることではないでしょうか。これからの大学生活を通して、皆さんが大きく進化し、そして東京海洋大学全体をも進化させる存在になって欲しいと期待しています。

＊) 宮沢孝幸著「京大 おどろきのウイルス学講義」PHP新書（2021年）



新入生の皆さんへ

海洋生命科学部長
後藤直宏



新年度が始まり数か月が経過しました。大学生活には慣れてきましたでしょうか。新しい友人はたくさんできましたでしょうか。一人暮らしを始めて寂しい思いを感じていた方、東京での生活に慣れてきて自由を満喫し始めたのではないのでしょうか。どうかこれから始まる大学生活を謳歌して頂ければと思います。

これまで以上に新しい知識や経験を得ることができる大学生活は、人生の中で貴重な時間のひとつです。大学での学びは、高校や中学校までの学校教育とは異なり、自分で考えて学びを深めていくことが求められます。そのため、自分自身がどのような学問分野に興味があるのか、どのような目標を持っているのかを明確にし、それを実現するための努力をしていくことが大切です。皆さんはまずは学問をするために大学生になったことを忘れないで欲しいと思います。

その一方で大学生活ではサークル活動、ボランティア活動、アルバイトなど、多様な経験を通じて自分自身を成長させることもできます。ただし、これらは大学生活の本分ではありません。よって時間管理が重要となります。どうか計画的に取り組むことで、学業と学業以外の活動の両立ができるように気を付けてください。

さらに人間関係も大切です。新しい友人や先輩後輩、先生との交流を通じて、自分自身を豊かにすることができます。そのためにはコミュニケーション能力が重要となります。相手の気持ちに寄り添い、共感し、良好な関係を築くようにしてください。

最後に、大学生活は長いようで短いものです。自分自身がどのような人生を歩みたいのか、大学生活を通じて自分自身をどのように成長させたいのか、しっかりと考え、確実に行動へ移していくことが大切です。様々な経験を積み、自分自身を磨いていくことで、社会へ出てからも活躍できる人材にきっとなることができると思います。

どうか大学生活を楽しみつつ自分自身を成長させてください。そして卒業するときに、「東京海洋大学に入ってよかった」と言って欲しいです。我々もそう言っていただけよう頑張ってサポートしたいと思います。

入学・進学のみなさんへ



海洋工学部長
元田 慎一

学部・大学院へご入学のみなさん、おめでとうございます。コロナ禍を経て日常に戻りつつある現在、みなさんは大学生活をスムーズにスタートする事が出来たでしょうか。過去3年間は大変苦勞の多い時間を過ごされたと思いますが、今後は感染に気を付けつつ戻ってきた「日常」を十分に楽しんでいただきたいと思います。しかしながら、世界を見まわしますとウクライナ戦争をはじめ、とても静かな日常とは言えない状況が続いています。これは技術革新の世界でも同じことで、ChatGPTをはじめとする生成AIの出現、ドローン技術をつかった空飛ぶ車の実用化など、少し前まではまだ先だと思われていた技術が、今年、我々の前に現れました。自動車にいたっては、ガソリン車に代わる電動車の発売が来年にかけて急増するとされています。私たちの周りの生活が一変するようなことが身近なところで起こっているといえましょう。さて、そういう技術革新が急激に進む世の中にあってみなさんが大学や大学院に入学する価値はどこにあるのでしょうか？海洋工学部のオリエンテーションでもお話ししましたが、私は、いつも新生に大学に来た価値は何か？、と問います。答えは人それぞれあると思いますが、その一つに「多様性 (Diversity) を知る事」があるのではないのでしょうか。大学には高校までの偏差値という評価方法はありませんが、成績評価にGPAがあります。それだけで良いという事はありません。いろいろな能力、得意分野、文化を持った友人、先輩・後輩、留学生、そして先生と交流し学ぶことで、不確定な社会を渡っていける能力を養えられることが、大学生のメリットだと思います。例えば、船舶や航空機が悪天候などで到着港を変更することをDivertと言いますが、「想定外に対応できる能力」を準備することは多様性の最たるものではないのでしょうか。

長い人生でみなさんの目的地は、今、考えているものとは違うかもしれない。あるいは目的地そのものがみつからない人もいるかもしれない。でも、どういう状況であっても、プレッシャーに負けずに前向きに切り開いていける多様性というひとつの能力を、本学で身に付けて卒業して欲しいと思うのです。我々教員もみなさんをサポートしますので、頑張って一緒に学んで行きましょう。

生徒から学生へ



海洋資源環境学部長
宮本 佳則

入学おめでとうございます。高等学校等では、新型コロナウイルスにより、ほとんどの行事などがなく、授業も遠隔であったかと思います。本学に入学され、ようやく対面での授業、友人との外出、外食など、自由を謳歌されていることと思います。ところで、学校教育法では、小学生は「児童」、中学校・高等学校に在籍する者を「生徒」といい、高等教育を受けている者(大学・高等専門学校に在籍する者)を「学生」と呼びます。生徒から学生になったことで、ご父母等の立場も保護者から身元保証人と変わります。さらに、成人年齢が18歳以上となり、民法が定めている成年年齢は、「一人で契約をすることができる年齢」という意味と、「父母の親権に服さなくなる年齢」という意味があります。成年に達すると、親の同意を得なくても、自分の意思で様々な契約ができるようになるということです。

何が言いたいかというと、「学生は、自分自身のことは、自分が責任を持って行わなければならない」です。特に4月から一人暮らしが始まった学生は、自由になった分、生活の全て(時間の管理、お金の管理、SNS等への発信など)をしなければならなくなります。しっかりと自己管理が問われます。学生と言う、若くて自由な時間を謳歌することが一番ですが、その中で最低限のルールを守り、安全に過ごされることを望みます。

もう一つ、大学の授業も自らが選択して、必要な単位を取得することになります。大学での授業や実験・実習を、私は「勉強」とは思いたくありません。「学び」であると思います。やらされてきた、やらなければならなかった「勉強」ではなく、自らの人生を切り開くための知識としての「学び」として取り組んでいただきたいと思います。大学生としての4年間は人として豊かな知識と経験を得て、それに基づいて自主的に柔軟に考え判断する能力と習慣を身につける大切な時間です。学生生活を有意義に過ごされることを心から願っております。

大学院の研究、「どこからはじめればよいのですか？」



大学院海洋科学技術研究科長

兵藤 哲朗

大学院に進学または入学された皆さん、対面授業も始まり、研究室における会話や議論なども円滑に推移していることと思います。さて、皆さんは授業の単位を取得するだけではなく、内外の研究をreviewし、新しい研究テーマにチャレンジする必要がありますね。その最終成果として、修士号や博士号が取得できるわけです。しかし、何から手をつければ良いのか分からないこともあるでしょう。指導教員が手ほどきしてくれると思いますが、ここでは私が博士後期課程の学生だった時に会った印象的な言葉を紹介します。1980年代後半の頃です。

『はてしない物語』ミヒャエル・エンデ作
「どこからはじめればよいのですか？」アトレュー
がたずねた。
「あらゆるところから、そして、どこでもないところからだ。」カイロンが答えた。

映画化された“Never Ending Story”の題名でも知られる作品ですが¹、主人公の少年アトレューが冒険に旅立つ時の、老師カイロンとの会話です。大学院に入学して「どこから研究を始めればよいのか？」という問いに対して、「あらゆる」広範なreviewを行い、誰も到達していない「どこでもないところ」で研究成果をあげる…という大学院生の規範を示唆していると思います。私の博士後期課程は正にこのプロセスに直面しており、在学中の26歳でしたが、深くこの会話に感じ入りました。

希望に満ち溢れた大学院生活、常に自分のResearch Questionを自問自答しながら「あらゆる」そして「どこでもない」研究に取り組んでください。実りある大学院生活となることを心よりお祈りいたします。

¹ この本の二重構成を参考に、村上春樹は『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』を執筆した。



2023年 出会い

入学特集

在学生から

新入生のみなさんへ

新入生の皆さんへ

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

鬼沢 侑希

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活には慣れましたか。入学してからもう1ヶ月が経ちましたね。大学の講義やサークル活動など4月は新しいことがたくさんあって、あっという間に過ぎ去っていったのではないのでしょうか。大学の4年間は長いように思いますが一瞬です。現在4年生になった私も、初めて大学に登校した日がつい昨日のこのように感じます。

そんな貴重な大学生活を皆さんにはぜひ充実して過ごしてほしいと思っています、と言うのも自分があと1年で終わってしまう大学生活に少し心残りがあるからです。

私が入学した2020年はコロナ禍の最中で約2年間、対面で授業や実習をすることができませんでした。コロナによる活動規制が緩和されて少しずつ登校できるようになってから、実習やボランティア、サークル活動にできる限り参加しましたが、今でもあの時もっと勉強しておけば、やっておけばよかったなと思うことが多々あります。

皆さんはこの4年間たくさん学んで、遊んで、経験を積んでください。いつもより少し積極的になる、チャレンジするだけできっと素敵な出会いや貴重な経験ができると思います。私は今大泉ステーションで先輩方と共同生活をしながら研究をしています。魚を飼育しながら研究していくことは自分にとって初めての挑戦でしたが、毎日が充実していてとても楽しく過ごせています。

東京海洋大学の環境や先生方、先輩方やご友人たちは

皆さんに良い刺激を与えてくれるはずですよ。どうか体に気を付けて一度きりの大学生生活を謳歌してください！皆さんの今後のご活躍に期待しております。

海洋大生よ、変人たれ

海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科4年

近藤 楓

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今から卒業するまで、「大学生活で頑張ったことは何ですか?」、「大学生活の中で得られたものは何ですか?」と問われる機会が増えると思います。この問いについては海洋大学の生徒に限らず、多くの他の大学生にとっても悩ましい質問であるでしょう。ゆくゆくは、その答えを自分なりに準備しておく必要がある場面にも直面するでしょう。海洋大では、1年生から海洋大ならではの实習や実験、授業がたくさん用意されているため上記のような問いには全く困りません。要するにネタ作りの宝庫でしょう。

自分は夏に大学の練習船の海鷹丸にて希望者40人で一か月をともに過ごし東京から下関までの航海を成し遂げたことや、海外キャリア実習では自分を含め6名がフランスへ10日間赴き、マイクロプラスチックの浸出液が潮間帯に生息する巻貝に与える影響について学んだことが数あるネタの中の一つです。

この文面を見るだけで一部の新生はすでにうきうきしているのではないのでしょうか。確実に「変人」です。このように自分ならではのネタをたくさん作り、皆さんが20歳を超えたときにお酒を交わしながら「変人」た

ちと「変人」トークを繰り返すのも海洋大生の醍醐味でないでしょうか。他大学の異性と遊ぶ際には、ほどほどにしましょう。モテません。最後になりますが、海洋大での4年間ネタ作りに励んではいかがでしょう？



海鷹丸による乗船実習での集合写真



マイクロプラスチック浸出液が巻貝に与える影響を評価するための実験

新入生の皆様へ

海洋科学技術研究科 海洋生命資源科学専攻2年

志村 美奈子

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。だんだんと大学生活というものがかかめてきた頃かと存じますが、いかがお過ごしでしょうか。私は大学院の修士課程の2年生なので、入学して6年目になります。授業はほとんどなく、研究室に所属して、毎日実験や研究をしています。学部1年生の時は一般教養科目が多く、なかなか海洋大でやりたいと思っていたような勉強ができないと感じている方もいらっしゃるかもしれませんが、どんな授業であってもとりあえず出席し、なにかそういう学

問があるなあという経験をしておくだけで人生の糧になると思うので、そんな日々も大切にしていってほしいなと思います。4年間でも6年間でも、時間は基本一瞬で過ぎます。大学は、高校までとは生活の自由度が段違いです。大学に在籍し、授業に出席し（最難関です）、単位を取得し、卒業論文を提出すると大卒資格は取れますが、せっくなのでなにか目標を意識して生活することをおすすめします。勉強でもサークルでも課外活動でもなんでもいいのですが、自分の支柱になるようなものがあると日々がより充実すると思います。私は、とりあえず楽しい人生を送りたいので、昨日より楽しい今日を、今日より楽しい明日を送ることを意識しています。皆様も健康にだけはお気をつけて、楽しい大学生活を送ってください。



タイ出張にて



新入生の皆さんへ

品川キャンパス自治委員会
海洋資源環境学部海洋環境科学科3年

野口 龍太

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学してしばらく経ち、皆さん海洋大生になったということを実感してきたのではないかと思います。月並みな表現ですが、大学への入学はゴールではありません。海洋大に入学してやりたいことがある人も、まだ自分がやりたいことを見つけられていない人も、海洋大での学生生活を通して自分のやりたいこと、これから進む道についてじっくり考えて、目標の実現に向けて頑張ってもらいたいと思います。

ところで、多くの学生にとって海洋大での生活というのはこれまでの生活に比べて自由であり、今までできなかった体験が沢山できると思います。また、今年に関して言うと、世間全体がいわゆるコロナ禍での生活様式からコロナ禍前の生活様式に戻ろうとしています。そんな中で是非、学業以外にも部活やサークルといった課外活動に打ち込んだり、新たな学びや出会いを求めて学外での活動に参加したりしてほしいと思います。それらの活動はきっと、自分の人間的な幅を広げてくれるでしょうし、何よりそこで築いた仲間存在は一生の財産になると思います。

色々書いてきましたが、海洋大での生活におそらく正解はありません。あったとしても、それはひとりひとり違うものになると思います。とにかく自分らしく楽しい大学生活を過ごしてください。



今しかできないこと

海洋工学部学生会事務局長
海洋工学部海事システム工学科4年

平野 武

新入生の皆さん。初めまして！そしてご入学おめでとうございます。

入学から数か月が経ち、入学当初の高い志とは程遠い自身の行動を振り返り自己嫌悪に陥る新生が多く発生する季節となってまいりました。そんな新生を少しだけ楽にする考え方をお話します。しばしお付き合いください。

私からの提案は意味もなくSNSに没頭することや授業や課題に対して手を抜き、最低限の点数を取ることも含めて目の前のことに全力で取り組むことです。その中で何かを得ようと無理に意識することはありません。一見無駄に思える行動をしていても許されるのが大学生の特権です。つまり現実逃避も含め皆さんが直面するイベントは全て今しかできない貴重な体験なのです。その体験の中で皆さんは自分で気づかない点も含めて確実に進化していきます。大学生活はこの進化のための時間と考えればたとえ理想的とは言えないものでも大学で過ごす時間は人生の中で意味を持ち、輝き出すはずで。せっかく今しかできない何かをするならその行動を選択した自分を肯定してあげましょう。全力で取り組めば自然と自分を肯定してあげたくなるはずで。

全力で取り組むことが見つからない人はサークル活動に取り組んでみましょう。私達学生会がその活動を全力でサポートします。

ということで私は先輩風を吹かせながら新生に生き方のアドバイスをするという“今しかできないこと”に全力で取り組んでみた訳です。



学生生活を楽しむために

第64回海鷹祭実行委員会委員長
海洋資源環境学部海洋環境科学科3年

平山 創悟

10

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。第64回海鷹祭実行委員会委員長の平山創悟です。入学してからしばらくたち、そろそろサークルで活動も本格的に始まったころだと思います。大学生活はどうですか？一緒に授業を受けたり、同じサークルで活動したりする新しい友人との時間を楽しんでいると思います。さらに、自由な時間を使って自分の趣味を追求したり、旅行に出かけたりするなど大学生ならではの楽しみ方をしている人もいます。このように大学生活には新たな体験と自由が溢れています。しかし大学生として過ごしていくうちにそんな生活にも慣れてしまい、「最近つまらない」と感じることもあります。そんな時こそ何事にも興味を持ち挑戦してみてください。幸い海洋大はほかの大学に比べて学年の人数が少ないので、幅広い友人ができます。友人の趣味を一度体験してみると新たな道が開けるかもしれません。また大学生は自由に遊べる最後の期間です。だからこそ、やり残したことがないように思いついたら即行動することをお勧めします。実際私も昨年スポーツ大会を企画し100名以上の学生が参加してくれました。今年の新入生は、新型コロナウイルスの影響を高校3年間受けていて、多くのイベントに制限がかけられていたと聞いています。それぞれ心の中に「あの時できなかった」「やりたかった」という思いがたくさんたまっているでしょう。大学生活は皆さんの夢を実現する絶好のチャンスです。どうか、あの時の夢をかなえて楽しんでください。



小笠原諸島にて

伝統ある海洋大へ

第63回海王祭実行委員会委員長
海洋工学部海事システム工学科3年

ライト 富博

皆様、東京海洋大学へのご入学おめでとうございます。第63回海王祭の実行委員長を務めております、海事システム工学科3年のライト富博と申します。

さて、皆様におかれましては入学して数か月が経ち、周りを見渡す余裕が出始めた頃かと思えます。周りを見ると、今までとは全く違う環境であることから不安を感じていないでしょうか。私が入学した頃、私も漠然とした不安感に襲われていました。そんな私を救ってくれた高校の恩師の言葉がありますので、今回その言葉を皆様にも贈ろうと思います。それは、「花は置かれたところで綺麗に咲く。」です。今自分がどんな環境にあろうとも、花ですら見事に綺麗に咲くものだから、いわんや自分が綺麗に咲けない訳がないのです。皆様も綺麗に咲いて、バラ色の将来となることを期待しています。

また、海洋大学は非常に歴史のある大学です。例えば私たちが運営する海王祭は今年で第63回を迎え、60年以上前からこの学校祭を運営していることとなります。これは他の大学と比べても非常に歴史の深い部類で、私たちの誇りです。先輩として、皆様の周りを取り巻くこの環境と伝統を引き継いでいってほしいと切に願っています。海王祭実行委員でも同じ志を持つ仲間が待っていますので、興味のある方は是非一度ご連絡ください！

最後に、皆様と一緒に新たな歴史を創りあげ、海洋大をより良い場所にできること、そして皆様の輝かしい未来を楽しみにしています！



第63回海王祭にて：歴史ある明治丸の雄姿

2023年 出会い

入学特集

先輩留学生から
新入生のみなさんへ

先輩留学生から新入生へ

大学院海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻2年

王 春 森 (Wang Chunsen)

Dear fellows, welcome to Tokyo University of Marine Science and Technology! I am Wang Chunsen, a doctoral student major in Applied Marine Biosciences. I come from People's Republic of China and have been here for around 5 years since I first came as an international exchange student. It is my pleasure to have this opportunity to welcome you and share some experiences as a senior.

TUMSAT has two main campuses: one is Shinagawa campus, of which the transportation is very convenient, so you can travel to various scenic spots conveniently when you are free; another one is Etchujima campus, which has many teaching buildings with classical academical style as well as the surrounding area with strong atmosphere of life and convenient living.

For international students, TUMSAT provides free Japanese courses, during which you will meet many friends from different countries and regions, and feel the developments of Japan with many museums visit about ancient culture, disaster prevention technology, fire protection knowledge, and Antarctic exploration. Also, when you come to your lab, normally

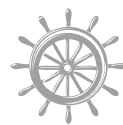
there will be a tutor who would help you to go through all kinds of complicated procedures, and get used to the rules and habits here as soon as possible. And professors will provide all necessary guidance and supports for your studies and research.

Wish you a happy, meaningful, and fruitful experience in TUMSAT!



After Master's graduation Ceremony in Shinagawa Campus

学科の特色ある



講義・実験の紹介

魚食文化論 ～魚との豊かな付き合い方を考える

海洋政策文化学部門 教授

中原尚知・婁小波・川辺みどり

東京海洋大学の学生に対する世間的なイメージのひとつに、魚に詳しく、さばくこともできる、というものがあるようです。たしかに玄人はだしの知識や技術を持った学生もいますが、実際のところ、必ずしもみなさんがそうというわけではありません。ただ、魚食文化論を受講することで、一定程度、このイメージのような人になれますし、日頃の食生活が豊かさを増し、また、その先の学びがさらに深くなります。

本講義がテーマとする魚食文化には、それを支える食材、調理法・加工法、メニュー、盛り付け、作法等があり、それらは地域や季節、時代によって変化します。本講義では、文化軸、時間軸、空間軸という3つの視点から魚食文化を捉えます。

講師陣は魚食文化に関わるプロフェッショナルの方々で構成され、毎回異なる角度から経験や知識に裏打ちされた情熱に溢れる講義がおこなわれています。たとえば、「世界の魚食文化」では様々な国の魚食文化の特徴を学び、「魚食普及活動の実際」では、魚食普及活動のメニューを体験しながら魚食文化への理解を深め、「魚の旬と季節感」では日本中の多様な魚とその料理について知ります（お腹がすきます）。そして、クライマックスといえるのが、最終回の「魚の調理法・盛り付け」であり、受講者はプロの料理人でもある講師から魚の調理法を学び、実際に魚を丸の状態からさばき、自分の一皿を完成させます。

このような一連の講義により、受講前は魚との関わりが薄かった人でも、受講後には魚や食文化に関する基礎的な知識を持ち、そして魚をさばける（とまでいなくても、少なくとも、さばいた経験のある）人になります。

食は我々が命をながらえるために必須なわけですが、そのためだけにあるのではなく、豊かな文化と共に成り立っています。そして日本でも諸外国でも多種多様な魚食文化が華開いています。魚食文化論でその一端を知ることが、魚との豊かな付き合い方を考え、実践するきっかけになればと思います。



講義「魚食普及活動の実際」の様子



「魚の調理法・盛り付け」でアジの調理法を学ぶ

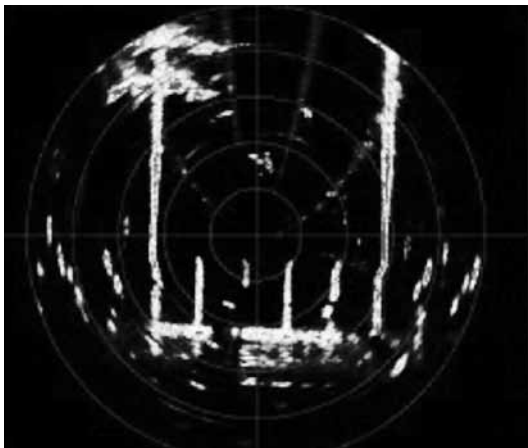
海事システム工学実験演習 におけるソナー実験

海事システム工学部門 教授
近藤逸人

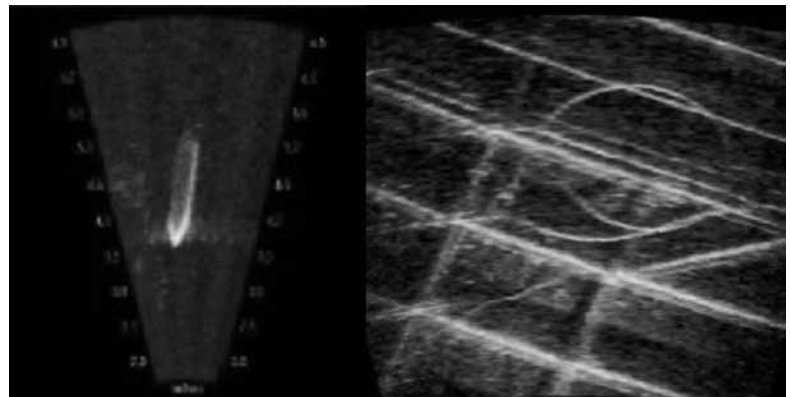
海事システム工学実験演習はIからVまであり、このうちIからIVは3年次に配置されています。週に2日、3時限から5時限まで午後を通して実施される科目で、多くの学科教員が担当して様々な実験演習が行われます。この中で、私が担当しているのは「ソナー実験」で、2年次の講義科目「計測工学」で学ぶ航海計器としての測深機の理解を深めることを目的としています。講義では測深機の仕組みや運用上の注意点を学ぶことにとどまらず、海洋音響の基礎から応用として各種ソナーの仕組みまでを授業の範疇としており、これに対応する実験演習として、最先端の機器に触れソナーの有用性を認識してもらうと同時に、測深から海底の地形計測、可視化、海底下の観測まで、基本的な原理は同じであり、時系列で観測される反射波の強弱から、時間を計ることで距離を求めたり、面的に並べることによって水中を可視化したりすることができるということを実感してもらうことに主眼を置いています。

コロナ禍の前は、越中島キャンパスにある船舶運航性能実験水槽で、2種類のソナー機器を使い実験を行っていました。一つはメカニカルスキャニング式のペンシルビームプロファイラで、測深機よりも細く鋭い指向性を持つ音響ビームにより対象物までの距離を計測し、このヘッドを回転させながら観測することで、全周的な断面を計測できるもの、もう一つは音響レンズを使ったイメージングソナーにより水中の様子をリアルタイムに可視化するものです。

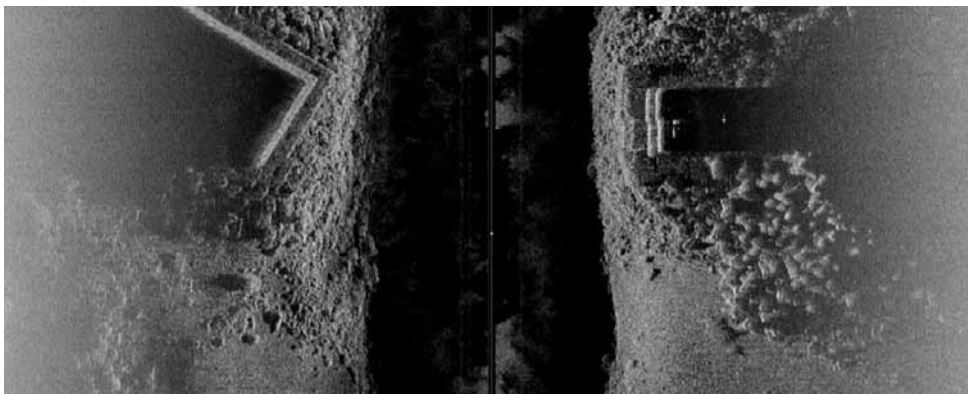
コロナ禍で密となる実験ができなくなった際には、実際の海域で取得したサイドスキャンソナーによる海底観測の生データを配付し、簡単な信号処理を加えることで海底面の可視化を行う実験演習を行ってきました。座学によりソナーの原理を学び、実験によって機器の使用方法を体験し、さらに数字の羅列にしか見えない生データを処理すると驚くような可視化ができることを実感することで、楽しみながら海洋技術に関する知的好奇心の枠を拡げてくれているようです。



ペンシルビームプロファイラで観測した水槽の断面

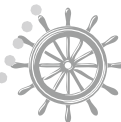


イメージングソナーで観測した水面に浮かぶ船舶模型と水槽底及びワイヤ



サイドスキャンソナーで観測した港の防波堤

大学での学び方 実習感想記



乗船実習体験記

海洋工学部 流通情報工学科3年

梶 綾馬

私たち、流通情報工学科の学生は4月末に汐路丸に乗船しました。入学したときにこの行事を知り、とても楽しみでしたがコロナウイルスの蔓延により、中止になってしまうかもしれないと危惧していました。しかし、無事に実施することができて感無量でした。私たちが乗った汐路丸は新しくなったばかりの船で、とても綺麗でした。そんな船に乗ることができたこともとても運がよかったです。

今回は、勝どきの港を出発し、千葉の館山で停泊し帰ってくるという1泊2日の実習でした。越中島にキャンパスがある私にとって、豊洲やお台場などの都市は親しみのあるものですが、船のデッキの上では違う角度から見るとは全くの別世界でした。また港湾の付近では、授業内の写真で見たものが目の前にあり、皆が高揚していたのを見ると「さすが、海洋大学生だなあ。」と思いました。当直実習では本来では資格がないと扱うことができない操舵を体験しました。少し舵を取っただけでとても大きな船体は曲がり揺れ、船の力というものを全身で感じることができました。操舵だけではなく、投錨や抜錨といったものを見学でき、とても貴重な時間でした。今回の実習の開催にあたって、大学の先生方、汐路丸の航海士、機関士の皆さん、その他たくさんの方々のおかげでとても貴重な経験をすることができました。この場を借りてお礼を言おうと思います。ありがとうございました。



海洋学実習Ⅰ感想

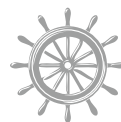
海洋資源環境学部 海洋環境科学科3年

宝 迫 美 央

学部2年生夏休みに行われる海洋学実習Ⅰでは、東京湾から相模湾を5日間かけて往復し、バケツ採水、CTD観測や生物ネットなどから東京湾、相模湾の海水を測定しました。当時はまだ習っていないことや、理解できずに終わったこともありましたが、後期の講義や3年生での講義の中で実習中に行ったことの意味がわかるようになり、うれしく思っています。

相模湾では4つのステーションを設け、各ステーションでCTDを降下し、水深1000mまで塩分、水温、溶存酸素、クロロフィル濃度を測定しました。この観測から、水深300-600m付近に塩分極小層があること、クロロフィル濃度が表層より少し下で最大となること、溶存酸素や水温は水深に伴って低下していくことなど、講義で習ったことが実際に結果となって見られ、感動しました。特に、相模湾で見られる塩分極小層については、特に記憶に残っています。この水塊は、オホーツク海近辺の表層水が潜り込み、日本の太平洋側に流れてくるもので、北太平洋中層水と呼ばれるものだということが当時知り、さらに後期の講義でこの低塩分水が相模湾に流れ込んでくる力学機構はまだ解明されていないと知りました。このように、まだ機構は解明されていないけれど観測されていることは多くあるため、その中のなにかを解明してみたいなと思いました。





資格取得に向けて



『東京海洋大学における 資格取得の勧め』

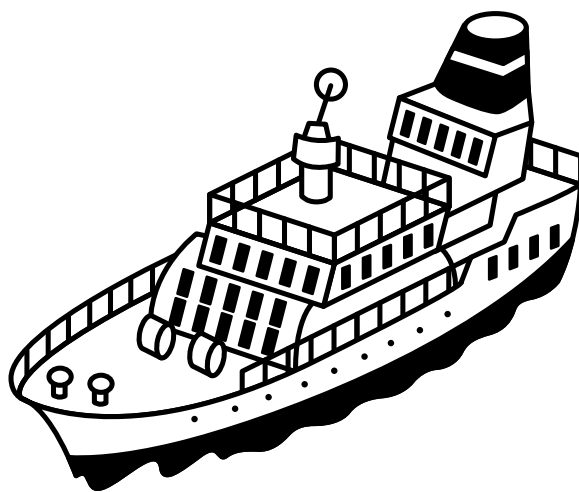
海洋生命科学部 食品生産科学科4年

古城 光

こんにちは。現在、食品生産科学科4年に所属しております、古城光です。今回、この場をお借りして、皆様に『資格取得の勧め』について述べさせていただきます。本学には、水産教員や学芸員資格をはじめ、食品衛生監視員などの多くの専門的な資格を取得できる環境があります。これらの資格は、指定されたカリキュラムを履修することで取得できるものもあれば、学外での試験が必要なものもあります。また、学部学科により、取得可能な資格は異なっていますので、自分の所属する学科で取得可能な資格については、大学HPや履修ガイド等で確

認しておくことをお勧めします。一方で、注意が必要なのはTOEIC試験です。本学では、4年進級時に、600スコア以上の取得が必要となります。さらに、大学院入試の際には、700スコア以上の取得で外国語試験が一部免除になりますので、大学院進学を考えている学生は、学部生のうちに高いスコアを取得しておいたほうが良いでしょう。本学では、定期的にTOEIC(IP)の試験を行っており、本学所属の学生であれば、誰でも試験を受けることができますので、積極的に受験して、できるだけ高いスコアの取得を目指しましょう。

最後に、私が皆様に一番お伝えしたいことは、『資格の数=能力の高さ』ではありません。資格取得には、時間も手間もかかります。ただやみくもに多くの資格を取得するのではなく、自分の進路に必要な資格を調べたうえで、貴重な大学生活の時間を使うことを強くお勧めします。



大学院で学べること



食機能保全科学専攻

食機能保全科学専攻 教授

大迫一史

学校教育法によれば、大学院は、「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。」(学校教育法第99条第1項)と定められ、学部課程の上に設置されています。皆さんの中には大学院に進学することを考えているまたは迷っている人、大学院について良く知らない人がいると思います。そのような人に参考になるよう、私の所属している食機能保全科学専攻(博食品生産科学部門 教授 大迫一史 食機能保全科学専攻士前期課程; 修士課程とも言います)を主な例として、大学院で学べることを紹介します。一般的に、博士前期課程では学部4年間で学んだことを基盤として、より高度な内容について学ぶこととなります。講義科目を受講するとともに、修士論文作成のための研究指導を指導教員から受けることとなります。講義科目の内容は、学部のものより高度かつ専門性の高いもの、科目によっては授業担当教員の最新の研究内容が反映されたものになることもあります。一般に学部の時よりも少人数のクラスとなるので、取組次第では密度の高い充実した指導を受けられることでしょう。一方で、専門性が高まることによる、いわゆる「タコつぼ化」にならないよう、食機能保全科学専攻では、食機能保全科学基礎論Ⅱという、いわゆる研究室間インターンシップ的な科目も用意されています。これは、自分の指導教員は別の教員の研究室へ赴き、そこで行われている研究テーマや実験のエッセンスを体験して、視野を広げることを目標とするものです。海洋生命資源科学専攻でも、同じ科目が開講されています。なお、食機能保全科学専攻では、講義科目の大半を英語で開講しています。これは、英語力の強化にもつながると思います。最近ではインターネットを介した国際的な研究集会在頻繁に行われるようになっており、これまで以上に、英語を使った研究発

表や議論を行う機会が増えるものと思います。大学院に進学しても、英語学習を継続して頂きたいと思います。修士論文作成のための研究活動は、大学院生活において大きなウェイトを占めます。私の研究分野は、いわゆる実験系ですので、研究室で様々な実験を実施して、その解析を行い、そして指導教員と結果についてディスカッションを行うという事になります。そして、素晴らしい結果が得られれば、学会発表や学術論文として公表し、そして最終的には修士論文としてまとめることとなります。その過程で、論理的な思考方法、文章の書き方をみっちり学ぶこととなります。学術論文を書くための訓練をするわけですが、実験手法を習得よりも、むしろ得られた結果を科学的知見と論理に基づいてまとめることの方が重要です。学生時代に学んだ実験手法は、いずれ技術の進歩と共に古くなり通用しなくなるでしょうが、論理的な思考方法、文章の書き方は一生役に立ち続けることでしょう。食機能保全科学専攻は食品を研究対象としています。が、食品のような身近なものであっても、未解明なこと、解決しなければならない問題が山積みです。むしろ、身近なものだからこそ、簡単な問題は既に解決されてしまっており、一筋縄ではいかない問題が散見しているといえるでしょう。多くの方が食機能保全科学専攻に興味を持って頂き、その門をたたいていただけることを期待しています。



応用環境システム学専攻

応用環境システム学専攻 流通情報工学部門 教授

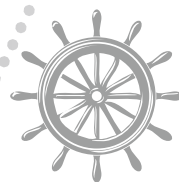
渡部 大輔

大学院とは、学部教育を終えた学生に対する高度な専門分野に特化した教育機関であり、博士前期課程（2年間）とそれに続く博士後期課程（3年間）で構成されています。特に、博士後期課程に進学する多くの学生は、将来的に研究者や大学教員などの専門性の高い職業に就くことを目指しています。大学院では、学部教育で習得した基礎的な知識を深め、専門分野における高度な知識を習得するとともに、研究に必要な調査や実験の設計、データ分析など研究を進めるうえで必要となるスキルを磨くことができます。その上で、自分自身で設定した研究課題に対して、指導教員による研究指導を基にして、研究会や学会での発表などの研究活動を通じて、学位論文の執筆に向けて研究を進めます。大学院で身につけた戦略的思考やプレゼンテーション技術などのスキルは、将来的に幅広い職業での活躍に繋がることがあります。

続いて、博士後期課程の応用環境システム学専攻において、どのようなことが学べるのかを紹介します。本専攻では、海洋環境の解明・利用・保全に関する学理と技術に関連する学際領域の開拓と教育研究を行い、海と人間の共生の観点から総合的な能力を持ち、指導的な立場に立てる人材の養成を目指した教育を行っています。専攻分野としては、海洋環境学、環境保全システム学、海洋

利用システム学、ロジスティクス、海洋機械システム学、産業政策文化学、海上安全テクノロジー、海洋探査・利用工学で構成されています。更に、博士課程5年一貫教育プログラムである「海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」では、近年注目されているビッグデータ解析や機械学習法をリテラシーとして身に付けた上で、人工知能の性能評価や社会実装を主導するイノベータ・高度専門技術者や海洋政策の立案を行う人材を養成しています。このような先進的かつ実践的な教育に興味を持たれた方は、本学の大学院で学ぶことをお勧めします。





卒業論文・修士論文への取り組み方

卒業論文への取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 海洋資源環境学専攻1年

上田 理智

(卒業) 研究は、世界の誰もがかかっていないことに対して、自分で答えを探していくことです。高校までの授業や大学の講義は受動的な側面が大きいです。研究は能動的に取り組む必要があります。現在研究したいことが明確に定まっている人もいれば、とりあえず教授から研究テーマを与えてもらう人も多いでしょう。研究テーマが最初は与えられたものであったとしても、それを自分のものにしていく意識が大切です。

最初はわからないことが多いと思いますが、焦らず調べを進めていきましょう。自分のテーマに関してどこまでわかっているかを明らかにしつつ、細かな理論などを学んでいきましょう。文献検索は地道に続けていると、論文を書く際にも役立ちます。実験や調査は研究室で様々だと思いますが、多くの研究室には積み重ねられてきたノウハウがあるので、研究室の先輩や教員の先生方と話すことは大事です。データを得た後は、どのようなことが言えるのか考えていきましょう。このとき、データの解釈が客観性を保っていることに注意しなければなりません。わかったことや、自分の考えはそのままにせず、卒業論文や発表でまとめる必要があります。他者にわかりやすく伝えることは意外に難しく、訓練が必要です。

卒業論文は、大学生活の集大成です。課題をみつけて自ら解決するために動き、自分の考えを伝えることは、社会にでても必ず役にたつはず。失敗を恐れずに積極的に動き続けることをお勧めします。

修士論文の取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻3年

梁 弘基

修士論文は、二年間の研究活動から得られた成果をまとめるため、卒業論文とは異なり、より深い専門知識と膨大なデータから筋道を立てて理論を展開する力が必要になってきます。皆さんが質の高い修士論文を執筆し、有意義な研究生活を送れるよう、私から二点のアドバイスを紹介します。

一つ目は、研究室の先輩が執筆した論文や投稿論文、専門書を精読することです。修士論文を執筆する際、研究の背景、新規性、独創性といった研究の意義を明確に示す必要があります。そのためには、自身の分野の深い専門知識が必要となってくるので、論文や専門書を普段から頻りに読みましょう。また、それでも欲しい知識が得られないときは、同じ分野の公的試験場や中小企業にコンタクトを取るのも良いです。

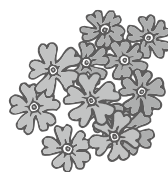
次に、指導教員の先生とディスカッションを頻りに行うことです。論文をまとめる際に、実験をした順番に結果を並べてしまい、全体の内容が不明瞭になってしまうケースがよく見られます。なので、得られた膨大なデータから、ストーリー性のある面白い論文を執筆するためには、筋道を立てて理論を展開する力が必要となります。そこで、指導教員と頻りにディスカッションを行えば、常に頭の中で論文のストーリーが整理されますし、指導教員の考えや方向性を理解することで自ずとこの力が養われていきます。また、在学中に学会発表や論文投稿など研究活動は良い機会となるのでお勧めします。

私は今年度から博士課程3年生となり、現在、博士論文を執筆に取りかかっています。お互い頑張って論文執筆しましょう！

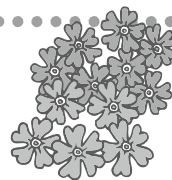


博士論文の執筆をする筆者

卒業生より



業界で活躍している OB・OGの方々



おもちゃの技術開発

2017年3月 海洋工学部海洋電子機械工学科 卒業
2019年3月 大学院海洋科学技術研究科海洋システム
工学専攻 修了
2019年4月 株式会社タカラトミー 入社

伊藤 大智

2019年3月に大学院を修了し、現在は玩具メーカーのタカラトミーに勤めて5年目を迎えます。

学生時代は、水中を群で探査する小型ロボットを開発する研究を通じて、電子回路設計・製作、機械設計、制御・解析ソフトウェアの作成にのめり込んでいました。また、作って終わりではなく、国内外の学会での口頭発表や査読付き論文の学会誌掲載など、研究成果の発表も数多く行いました。

就職活動については、ものづくりに携わる仕事をしたいと考えていました。しかし、ただ製品開発ができれば良いのではなく、自分が心から面白いと思えるものを作って世の中をにぎわせたいという想いがありました。そして、自分が心から面白いと思えるものを作る仕事とは何なのか、考えるに考えた結果、タカラトミーでおもちゃの技術開発をする仕事を選びました。

おもちゃの技術開発と聞いて、どんな仕事を想像しますか。海洋に関わる業界とは離れるので、想像がしづらいかもかもしれません。製品企画のアイデアを、技術の力で具現化し、量産に向けて検証を繰り返し、開発を進めていくのがおもちゃの技術開発です。私は入社後、主にICチップなどの電子部品を使ったおもちゃの技術開発をしています。具体的には、自分の得意とする電子制御技術を使って、光る・音が鳴る・動く・通信するなどの機能を持つ電子玩具の回路設計やソフト開発、生

産管理などを行っています。他にも、おもちゃの技術開発の仕事には、メカ機構の試作設計を行う部門や、量産に適した設計検討を行う部門があります。

この仕事の魅力は、まず企画段階から開発設計生産まで一貫して1つの製品プロジェクトに関われることです。企画・開発から生産・消費に至るまでの産業の1サイクルを丸ごと経験することができます。そして何より、製品が出荷されておもちゃ売り場に並び、子どもたちに喜んでもらえることで具体的な成果と達成感が味わえます。また、自分が開発に携わった製品がメディアで紹介されて話題になることもよくあります。

一方、子どもが使うものなので、一般の工業製品以上に安全に配慮した設計にすることは欠かせません。子どもが遊んでも安全で高品質かつコストを抑えた製品を開発するための技術は、入社してから1から学んでいます。また、世の中のトレンドにあったおもちゃを作り続けるために、新しい技術についても日々学んでいます。技術者が学ぶことに終わりはないということを念頭に置いて仕事に取り組んでいます。苦勞することも多いですが、常に新しいものづくりにチャレンジできるので、仕事に飽きることはありません。



これまで開発に携わった製品の例

最後になりますが、大学は様々なことにチャレンジできる環境ですので、在学中の皆さまには自分が面白そうと思ったら難しいことにでも全力で挑戦し、密度の濃いキャンパスライフを過ごしてほしいです。また、進路を悩まれている方は、自分の道を狭めず、特定の業界にこだわらない広い視野をもって考えてみると良いと思います。

「コロナ禍を乗り越えて」

2022年3月 海洋科学技術研究科海洋管理政策学専攻
博士前期課程修了

2022年4月 千葉県庁 入庁

辻 珠 実

私は、大学院から東京海洋大学に進学し、海洋管理政策学を専攻していました。大学院から新しい大学に行くことに不安もありましたが、新しい仲間や先生方との出会いや授業を受けて、新たな知識などを増やすことができると考え、海洋大への進学を決めました。しかし入学した2020年4月、新型コロナウイルスが蔓延し、入学式は中止、初めてのゼミの顔合わせはオンラインとなり、オンライン上での意思疎通は難しく、このタイミングの進学は失敗だったのではないかと考えることもありましたが、しかし、先生方や同期、先輩、後輩が優しく、研究室にいるときなど声をかけて下さり、どの授業を取るべきか、どのように研究を進めるべきかなどアドバイスをいただき、無事、博士前期過程を修了する事ができました。私が勉強したいと思っていた統計学を学び、大学生の時より専門的な研究を行えたと感じています。修了式では、オンラインでしかお会いできなかった先生方にも直接会える機会となりました。

大学院修了後は、地元である千葉県で地方公務員として働いています。地方公務員の水産職には、主に3つの仕事があります。水産業の課題に対する対応方針や施策を考える「行政職」、水産の問題点に対する技術的な解決策を研究する「研究職」、水産業の現場と直接かわり水産業の改善を進める「普及職」です。その中で私は行政職として働いています。私の仕事の中で、試験研究課題に関する評価等を行う会議を開く仕事があり、会議の議題として、今の水産業の課題を解決するような内容か、どのように普及していくかという議論が行われます。「行政職」「研究職」「普及職」の各職員や、水産だけでなく農業系の職員も会議に出席するため、多方面からの

視点での意見や時に鋭い意見を聞くことができ、研究への考え方なども学べる良い機会だと感じています。

また、昨年は入庁1年目だったこともあり、自分の業務以外にも様々な研修会やイベントに参加させていただく機会がありました。写真は、毎年県民の日に併せて行われているイベントに参加したときの写真です。漁師の晴れ着である「万祝」を着ることができ、貴重な経験ができたと思います。

まだ入庁して2年目ですが、今感じている事は、大学や大学院で学んだ内容が十分に活かせることです。働く中で、「あの時勉強した内容だ」と思う瞬間が何度もあり、その度に勉強不足だと感じることも多くあります。学生の皆さんにも得意不得意はあると思いますが、学生時代は未知の経験ができるチャンスだと思うので、コロナ禍が明けた今、勉強面はもちろん、少しでもやってみたく感じたことは果敢にチャレンジをして、たくさん吸収し、自分の可能性を広げて欲しいと思います。私も様々な事にチャレンジをして、どのような状況でも活躍できる職員を目指して、日々努力したいと思います。



仕事の一環でイベントに参加した時の様子

新任教員の紹介



海洋政策文化学部門 教授

猪又 秀夫

2023年4月1日付で海洋政策文化学部門の教授に着任しました猪又秀夫（いのまたひでお）と申します。

私はいわゆる「実務家教員」であり、これまでの30年間は水産庁を中心に行政官の仕事をしてきました。もっとも直近の2年半は、下関に立地する水産大学の特任部長として学校運営に携わったことから、現在の大学が直面している様々な問題について承知しているつもりです。よって今回、事務方から教育・研究に直接従事する「大学の先生」に転じるにあたって、特に以下の二つに留意したいと思っています。

まず第一に、学生に対するサービスに力を入れます。ここで「教育」ではなく「サービス」とあえて書いたのは、授業や卒論指導はもちろんのこととして、水産職の公務員試験といった就職対策にも貢献したいからです。大学は就職予備校ではありませんが、海洋系（水産系）の大学に入る学生には、海が好き、魚が好き、な者が多いことから、本学で学んだことが活かせる就職先として公務員を希望する学生に対して、支援ができないかと考えています。

第二に、きちんとした研究成果をあげたいと思います。これまでには職務外で研究活動を行ってきましたが、今後は職務の一環として研究が許されることとなりました。逆に言えば、安易な言い訳が許されない世界に入ったということであり、海洋に関する国内・国際的な制度について、これまでよりも少し範囲を広げて研究活動を行いたいと考えています。

いずれにしても今回、新しい可能性を追求する機会を戴いたことは確かであり、本学のファカルティの一員として一層精進して参る所存です。どうぞよろしく申し上げます。



海洋政策文化学部門 助教

廖 凱

2023年4月1日より海洋政策文化学部門の助教に着任しました、廖 凱（リョウ カイ）と申します。中国から日

本にまいりまして6年目になります。経済学的手法を用いて、「魚類養殖業の環境経済評価」をテーマに研究しています。良好な漁場環境や有利な経営資源を背景に、養殖業の地域集積が進むことはよくみられる養殖業の展開パターンの一つです。しかし、多くの養殖業者が一カ所の海域に集まることは、当該漁場の水質や環境に高い汚染物質の排出負荷を与えることを意味します。そうした排出負荷による悪影響を回避し、持続可能な養殖業を実現するためには、環境影響を定量的に評価し、養殖経営への経済影響を分析することが必要となります。現在次の三つの項目に焦点を当てて当該課題の解明にアプローチしています。第1に中国における魚類養殖業の地域集積の動向と形成要因を定量的に解明します。第2に中国と日本におけるトラフグ養殖業を対象として、その収益性と安全性を定量的に分析するとともに、トラフグ養殖業の展開、現状、課題についても検討します。第3に外部性を内部化するために、トラフグ養殖の環境影響の定量分析とその経済評価を行っています。それらを踏まえて養殖業の発展と環境保護とのバランスを図るための対策を模索しています。これから学生の皆さんと、魚類養殖業の持続可能な発展にむけて共にチャレンジしていきたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。



海洋電子機械工学部門 教授

吉岡 哲也



2023年4月、海洋電子機械工学部門に着任しました吉岡 哲也（よしおか てつや）です。

本学では機関管理実務を中心に「管理システム工学」を担当し、デスクトップ型エンジンシュミレータを用いた機関室管理高度化や最適運用管理についての研究を行います。

さて私は、1985年「日本郵船(株)」に入社し、23年間の海上勤務と15年間の陸上勤務を経験してきました。

日本人船員30名ほどが乗船する、昭和の厳しくも温かい貨物船での三等機関士から始まり、船員制度近代化の波と共に運航士（航海士と機関士の二刀流）として、11名での過酷なパイオニアシップ運航実務、憧れであった客船事業（「飛鳥」、「Crystal Harmony」）に一等機関士、訪船初の世界一周クルーズを担う、乗客サービス統括パーサーとして携わる貴重な体験をしています。

それらで得た経験・スキルを活用した、国際科学プロジェクトの中核となる、地球深部探査船「ちきゅう」建造から運航管理、機関長として乗船する機会にも恵まれ、その後、三次元物理探査船「たんさ」の日本籍化(Flag Back)、運航管理実務にも関与しています。

おかげさまでこれまでに、南氷洋を除く大海原を舞台に、計23隻の国際船舶にて300万キロ（100カ国）以上航海し、「地球」を旅してきました。

また陸上勤務では、技術サービス・エンジニアから、新規船舶管理会社設立、最適な運航管理、特殊船舶乗組員育成の具現化、幹部職員となった40歳代での社会人大学院・技術経営修士修得を経て、会社役員として企業経営に携わるなど、海事・海洋産業ならではの、多種多様な業務経験を通じた自己成長機会を享受してまいりました。

これからは、本学における「実務家教員」として、これまでの経験、知見を活かして、海事・海洋産業を志す学生の皆さんへ、ダイナミックで魅力溢れる仕事の醍醐味や、組織のリーダーとなる資質を備えた、未来の「海技士」像などについて伝えることができれば幸いです。

教職員としての経験に乏しく未熟ではありますが、アカデミックな先生方の広範な知識に学び、学生皆さんのクリエイティブな思考や行動力に刺激を受け、バランスよく柔軟な教育研究に邁進いたしたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

流通情報工学部門 准教授

田上 悠太



流通情報工学部門の田上悠太（たのうえ・ゆうた）と申します。2023年4月1日付で着任いたしました。

私の専門分野は統計学、データサイエンスです。大学時代は商学部にて在籍しており、経済学、統計学の理論について勉強をしてきました。大学院時代は統計学、データサイエンス、機械学習などの勉強、研究を行ってきました。博士の学位は統計科学分野で取得いたしました。博士の学位を取得後は統計数理研究所、早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センターにてポスドクとして研究、教育に従事してまいりました。

これまでに私は実際のデータを用いたデータ分析、統計学の数理理論の研究を行ってまいりました。具体的には、大学院生時代から地方銀行のデータを用いて銀行債権の貸し倒れリスクについて研究、公衆衛生データを用いた医療に関するデータ分析を行ってまいりました。また、金融リスク分野での応用を見据えた統計学に関する数理理論の研究を行ってまいりました。

本学において、流通情報工学部門での教育、研究を通して、流通情報工学分野の研究、データに触れる機会が多くなると考えています。今後はこれまでの研究を継続しつつも、流通情報工学分野のデータの分析による新たな知見の獲得、また、流通情報工学分野のデータに基づいた新しい統計理論研究に挑戦できればと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



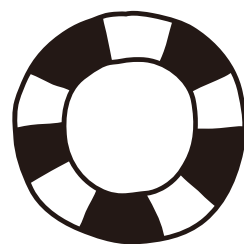


水圏科学フィールド教育研究センター 准教授
松本有記雄

2023年4月1日に東京海洋大学水圏科学フィールド教育研究センターの准教授に着任した松本有記雄（まつもと ゆきお）です。前職の水産研究・教育機構および国際農林水産業研究センターでは、東日本大震災後の東北沿岸やフィリピンなどで、アワビ類の種苗生産技術開発やアワビ類の生態研究に携わってきました。この度縁あって館山ステーションで教育と研究に取り組むこととなりました。

私の専門は動物の行動学やそれを応用した水産増殖学です。動物は繁殖や生存に有利な形質を進化させています。これらを利用した飼育技術開発や資源管理技術の開発を目指しています。例えば、アワビ稚貝は成長に伴って歯の構造が変化するため、好適な餌料珪藻は変化していきます。この知見を活用した稚貝の飼育技術を開発してきました。また、動物のおもしろい行動に関する研究にも取り組んでいます。これまで子育てをする魚類や台風の日に産卵するアワビについて研究してきました。ペンと耐水紙を持って潜水観察したり、記録計を対象生物に装着したりする(バイオロギング)など研究手法は様々です。

館山ステーションでは、目の前の海で多くの生物の生態を観察できます。生物の生態について学びたいという方は、ぜひ研究室にいらしてください。みなさんと試行錯誤しながら一緒に研究したいと考えております。よろしくお願いたします。



2022年度学生会報告書

●2022年度海洋工学部学生会報告書

海洋工学部 学生会
会長 平野 武

〈収 入〉	(円)
前年度繰越金	6,102,623
学生会費	2,600,000
新入生	62人×40,000
編入生	3人×20,000
	2人×30,000
計	8,702,623
〈支 出〉	
サークル活動支援金	4,634,613
計	4,634,613
〈来年度への繰越金〉	
収入	8,702,623
支出	4,634,613
来年度繰越金	4,068,010



実行委員長から

海王祭の紹介



「努力の賜物、海王祭」

第63回海王祭実行委員会委員長
海洋工学部海事システム工学科3年

ライト 富博

皆様はじめまして。第63回海王祭の実行委員長を務めております、ライト富博と申します。

はじめに、海王祭を様々な形で支援して下さった企業、団体、地元の方々、大学関係者や本学の学生の皆様にはこの場を借りまして感謝の意を表したく存じます。

さて、本年度の海王祭は2023年6月3日、4日の二日間にわたって開催されます。今年是对面での開催となり、4年ぶりの開催と相成りました。たった二日間の開催ですが、その準備は想像していたよりはるかに大変なものでした。我々実行委員にはもはや対面での開催を経験した人はおらず、海王祭の準備は手探りのような状態

から始まりました。しかし、それでもなお海王祭を成功させるという強い意志のもと、実行委員一丸となって準備を進めてまいりました。今年度の海王祭は副委員長はじめ、局長などの委員なしではここまで成し遂げることはできなかったでしょう。今年度の海王祭は努力の賜物ともいべき祭りなのです。

本年度の海王祭は海事普及をスローガンに、様々な企画をご用意いたしました。大学の設備の公開や、海事情報の発信、海洋大生による様々な企画など、素晴らしい企画が目白押しです。これまでもそうであったように、今後も皆様から愛される海王祭を目指して精進してまいります。

最後に、輝かしく頼もしい海王祭実行委員の皆を応援していただけますと幸いです。また、海王祭にお越しいただいた皆様や支援して下さった方々には重ねて御礼申し上げます。



第63回海王祭実行委員メンバー

ニュース

&

トピックス

令和4年度3月期学生表彰授与式、学業優秀学生奨学金授与式、学会等各賞表彰式を行いました(令和5年3月23日)

○学生表彰(学部)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、入学以来よく勉学に努め、優秀な学業成績をおさめた学部学生8名に対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生

○学生表彰(大学院)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、研究活動において特に顕著な研究成果をおさめた学生16名に対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授与されました。



井関学長と受賞した学生



井関学長(前列中央)と受賞した学生

○学業優秀学生奨学金授与式

東京海洋大学学業優秀学生奨学金規則に基づき、成績優秀な博士前期課程2年次在籍者で博士後期課程に進学する8名および国家公務員採用総合職試験合格者7名へ奨学金の目録が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生



井関学長(前列中央)と受賞した学生



○学会等各賞表彰式

特に顕著な学業成績をおさめた学部学生21名、大学院学生2名に対して、以下に記載した各学会等の表彰状および副賞が授与されました。

海洋会「海洋会賞」

日本機械学会「畠山賞」

日本船舶海洋工学会「奨学褒章」

日本航海学会「奨学ほう章」

空気調和・衛生工学会「振興賞学生賞」

海技教育財団「会長賞」

日本マリンエンジニアリング学会「優秀学生奨励賞(山下勇賞)」

日本マリンエンジニアリング学会「優秀大学院生奨励賞(林俊一賞)」

日本物流学会「物流研究奨励賞」



井関学長（前列中央）と受賞した学生

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学会等からのご来賓のご参列をご遠慮いただいたため、表彰状は、井関学長の代行により授与されました。

○楽水会奨励賞表彰授与式

学業研究に精励し優秀な成績を収めたと認められる学部学生5名、大学院生1名、学業のみならず留学支援活動、委員会活動に意欲的に取り組んだ学部学生1名、大学院生1名、優秀な成績を収めかつ専攻科学生をまとめリーダーシップを発揮した海洋科学専攻科生1名に対し表彰状および記念品が授与されました。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学会等からのご来賓のご参列をご遠慮いただいたため、表彰状は、井関学長の代行により授与されました。



井関学長（前列中央）と受賞した学生

令和4年度3月期学位記・修了証書授与式を挙行了しました

令和4年度 学位記・修了証書授与式を、3月24日（金）に越中島キャンパス越中島会館講堂にて挙行了しました。

今年度の卒業生・修了生は、学部卒業生460名、海洋科学専攻科修了生40名、博士前期課程修了生230名、及び博士後期課程修了生19名の計749名です。

それぞれ授与された学位記を胸に、思い出の詰まった母校から旅立ちました。

今年度は、三部制での開催及び出席者を卒業生・修了生と教職員のみ限定する等、例年とは異なる形式とな

りましたが、卒業生・修了生の門出を祝う温かい雰囲気の中での開催となりました。

井関学長が式典中に読まれた式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。また、卒業生・修了生へ向けたいお祝いメッセージとして、本学（旧東京水産大学）出身の小野寺五典衆議院議員と本学の同窓会の一つである一般社団法人 海洋会 会長 平塚惣一様からご祝辞をいただきました。学長式辞と同じホームページへ掲載しておりますので、あわせてご覧ください。



井関学長から代表者への学位記・修了証書授与



式典の様子

令和5年度入学式を挙行了しました

令和5年度入学式を、4月7日（金）に越中島キャンパス越中島会館講堂にて挙行了しました。

今年度は、学部生474名、海洋科学専攻科生34名、乗船実習科生46名、博士前期課程238名、博士後期課程21名の計813名が、東京海洋大学生として新たな一歩を踏み出しました。



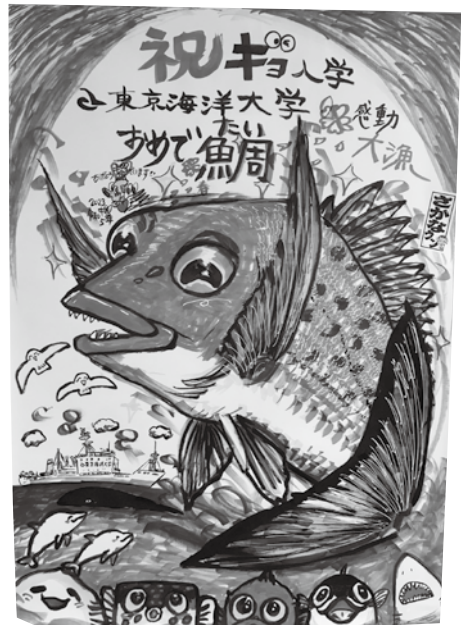
式典の様子



式辞を読む井関学長

今回の式典は、三部制での開催及び出席者を入学生と教職員のみ限定する等、例年とは異なる形式となりましたが、入学生の新たな一歩を後押しするような温かい雰囲気の中での開催となりました。

井関学長が式典中に読まれた式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。また、入学生へ向けたいお祝いメッセージとして、本学（旧東京水産大学）出身の小野寺五典衆議院議員と本学経営協議会学外委員の池田潤一郎様からご祝辞を、本学客員教授のさかなクンからメッセージ動画をいただきました。学長式辞と同じホームページへ掲載しておりますので、あわせてご覧ください。



さかなクンお祝いイラスト



就職情報

令和4年度卒業者の就職先

海洋生命科学部・海洋資源環境学部・ 海洋科学専攻科

業 種	企 業 名
鉱業・採石業・砂利採取業	石油資源開発株式会社
建設業	深田サルベージ建設株式会社 株式会社不動テトラ
製造業	東洋水産株式会社 株式会社ファーマインド 伊那食品工業株式会社 一正蒲鉾株式会社 いなば食品株式会社 株式会社STIフードホールディングス エスフーズ株式会社 株式会社林原 株式会社崎陽軒 ケンコーマヨネーズ株式会社 株式会社築地フレッシュ丸都 株式会社ニチレイフーズ 日新製糖株式会社 日本農産工業株式会社 フジパングループ本社株式会社 プリマハム株式会社 株式会社フロジャポン マリンフーズ株式会社(双日グループ) 丸大食品株式会社 マルハニチロ株式会社 森永製菓株式会社 株式会社ヤッホーブルーイング ヤマサ醤油株式会社 雪印メグミルク株式会社 理研ビタミン株式会社 大倉工業株式会社 三葉化工株式会社 田中貴金属グループ 千代田化工建設株式会社 今治造船株式会社 株式会社エイトデイズ 株式会社ニトムズ
電気・ガス・ 熱供給・水道業	K&Oエナジーグループ【K&Oエナジーグループ (株)／関東天然瓦斯開発(株)大多喜ガス(株)】 四国電力株式会社 東京パワーテクノロジー株式会社(東京電力グループ)
情報通信業	株式会社アドビジネスコンサルタント 株式会社石川コンピュータ・センター 株式会社コンピュータマネジメント r i n n a株式会社

業 種	企 業 名
情報通信業	I & Jデジタルイノベーション株式会社 SCSK株式会社 サンネット株式会社 株式会社Sharing Innovations テクバン株式会社
運輸業・郵便業	出光タンカー株式会社 株式会社せとうちクルーズ 旭海運株式会社 上野トランステック株式会社 宇和島運輸株式会社 NYK LNG シップマネージメント株式会社 海洋技術開発株式会社 川崎汽船株式会社 ケイラインローローバルクシップマネージメント株式会社 株式会社商船三井 商船三井フェリー株式会社 昭和日タンマリタイム株式会社 新日本海フェリー株式会社 第一中央内航株式会社 太洋産業貿易株式会社 日本海洋事業株式会社 八馬汽船株式会社 株式会社フジトランスコーポレーション 明治海運株式会社 佐川グローバルロジスティクス株式会社 ENEOSオーシャン株式会社
卸売業・小売業	株式会社丸和 小浅商事株式会社 JFE商事エレクトロニクス株式会社 双日食料株式会社 ダイキンHVACソリューション東京株式会社 東洋冷蔵株式会社 ニチモウ株式会社 株式会社ハーテック・ミワ 株式会社ファーストリテイリング 株式会社タカラ・エムシー
金融業・保険業	七島信用組合
学術研究、専門・ 技術サービス業	国立研究開発法人水産研究・教育機構 特定非営利活動法人日本ウミガメ協議会 一般財団法人日本食品分析センター みなとみらい特許事務所 三洋テクノマリン株式会社 EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 日本エヌ・ユー・エス株式会社
宿泊業、飲食サービス業	株式会社星野リゾート

業種	企業名
宿泊業、 飲食サービス業	株式会社ギフトホールディングス
	株式会社鳥貴族ホールディングス
宿泊業、飲食サービス業	株式会社中村藤吉本店
生活関連サービス業、娯楽業	株式会社SCRAP
教育、学習支援業	静岡県立焼津水産高等学校
	国立大学法人東京海洋大学
	国立大学法人東京農工大学
	独立行政法人海技教育機構
	オリックス水族館株式会社
	株式会社四谷大塚
複合サービス事業	北部太平洋まき網漁業協同組合連合会
	北海道漁業協同組合連合会
	労協センター事業団・ワーカーズコープ
サービス業	株式会社グローバルオーシャンディベロップメント
	一般社団法人日本海事検定協会
	家業（詳細不明）
	株式会社スタッフサービス（エンジニアリング事業本部）

業種	企業名
サービス業	株式会社JR東日本サービスクリエーション
	高速道路トルテクノロジー株式会社
公務	気象庁
	国土交通省北陸地方整備局
	水産庁
	農林水産省
	農林水産省関東農政局
	警視庁
	足立区
	熱海市役所
	石川県庁
	大阪府
	神奈川県庁
	静岡県庁
	千葉県庁
	東京都
	長崎県

海洋工学部・乗船実習科

業種	企業名
建設業	国際ケーブル・シップ株式会社
	清水建設株式会社
	株式会社東京エネシス
	オフショアエンジニアリング株式会社
	五洋建設株式会社
製造業	株式会社バイコム
	花王株式会社
	株式会社希松
	共同カイトック株式会社
	山九株式会社
	千代田化工建設株式会社
	株式会社日本製鋼所
	株式会社三井E&Sホールディングス
	三菱マテリアルテクノ株式会社
	日本信号株式会社
	東芝キャリア株式会社
	三菱電機株式会社
	三菱電機ホーム機器株式会社
	今治造船株式会社
	ジャパンマリンユナイテッド株式会社
	株式会社新来島どっく
	新明和工業株式会社
スズキ株式会社	
PANAC Advanced Film Malaysia SDN.BHD	
電気・ガス・熱供給・水道業	東京電力ホールディングス株式会社
情報通信業	株式会社アイビス
	株式会社NTTデータ
	株式会社NYK Business Systems
	ENEOSシステムズ株式会社
	株式会社アルファセクション
	企業名不明（IT企業）
	JFEシステムズ株式会社
商船三井システムズ株式会社	

業種	企業名
情報通信業	チームラボ株式会社
	T&D情報システム株式会社
	株式会社テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社
	株式会社ナノベース
	パナソニックコネクト株式会社
	株式会社山口シネマ
運輸業・郵便業	NTTコミュニケーションズ株式会社
	飯野海運株式会社
	MSC Mediterranean Shipping Company SA
	川崎汽船株式会社
	鴻池運輸株式会社
	コマツ物流株式会社
	株式会社サカイ引越センター
	商船三井客船株式会社
	株式会社日立物流
	丸全昭和運輸株式会社
	三菱倉庫株式会社
	郵船ロジスティクス株式会社
	出光タンカー株式会社
	上野トランステック株式会社
	NSユナイテッド海運株式会社
	ENEOSオーシャン株式会社
	鹿児島船舶株式会社
	共栄タンカー株式会社
	春山海運株式会社
株式会社商船三井	
新日本海フェリー株式会社	
第一中央内航株式会社	
田淵海運株式会社	
日本海洋事業株式会社	
日本郵船株式会社	
福神汽船株式会社	
卸売業、小売業	キヤノンマーケティングジャパン株式会社
	トラスコ中山株式会社
	株式会社ファミリーマート

業種	企業名
金融業・保険業	株式会社山梨中央銀行
	株式会社日本貿易保険
学術研究、専門・技術サービス業	株式会社ベクトル
教育、学習支援業	株式会社スプリックス
	独立行政法人海技教育機構
	日美美術学院
サービス業	株式会社アウトソーシングテクノロジー
	一般社団法人日本海事検定協会

業種	企業名
サービス業	一般財団法人日本海事協会
	日本サルヴェージ株式会社
公務	国土交通省
	特許庁
	市川市役所
	警視庁
	東京都

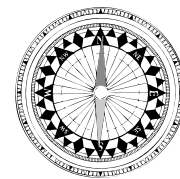
大学院海洋科学技術研究科

業種	企業名
鉱業・採石業・砂利採取業	出光興産株式会社
	シュルンベルジェ株式会社
	石油資源開発株式会社
建設業	鹿島道路株式会社
	東亜建設工業株式会社
	株式会社東京エネシス
	株式会社不動テトラ
製造業	味の素冷凍食品株式会社
	伊藤ハム株式会社
	株式会社ウエノフードテクノ
	エスビー食品株式会社
	カゴメ株式会社
	カンロ株式会社
	キュービー株式会社 総合職
	キュービー醸造株式会社
	キュービータマゴ株式会社
	株式会社極洋
	株式会社グリーンメッセージ
	株式会社湖池屋
	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
	サンヨー食品株式会社
	昭和産業株式会社
	株式会社ダイショー
	株式会社ニチレイ
	日清食品ホールディングス株式会社
	株式会社日清製粉ウエルナ
	日清丸紅飼料株式会社
	株式会社ニッスイ
	日世株式会社
	株式会社ニッポン
	日本ハム株式会社
	日本農産工業株式会社
	プリマハム株式会社
	マリンフーズ株式会社 (双日グループ)
	マルハニチロ株式会社
	株式会社明治
	森永乳業株式会社
	株式会社ヤクルト本社
	理研ビタミン株式会社
	株式会社ロッテ
	凸版印刷株式会社

業種	企業名	
製造業	小川香料株式会社	
	上海薬明生物技術有限公司	
	株式会社新日本科学	
	株式会社ダイセル	
	日本合成化工株式会社	
	フマキラー株式会社	
	株式会社カツシカ	
	日本製鉄株式会社	
	古河電気工業株式会社	
	アジレント・テクノロジー株式会社	
	株式会社キッツ	
	栗田工業株式会社	
	株式会社小松製作所	
	住友重機械工業株式会社	
	ダイキン工業株式会社	
	東京計器株式会社	
	東洋エンジニアリング株式会社	
	日揮ホールディングス株式会社	
	日本分光株式会社	
	ベスタス・ジャパン株式会社	
	株式会社前川製作所	
	三菱重工マリンマシナリ株式会社	
	TDK株式会社	
	シャープ株式会社	
	株式会社シュリンクス	
	日本電気株式会社 (NEC)	
	パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社	
	株式会社日立製作所	
	三菱電機株式会社	
	いすゞ自動車株式会社	
	今治造船株式会社	
	トヨタ自動車株式会社	
	本田技研工業株式会社	
	ヤマハ発動機株式会社	
	SMCプレコンクリート株式会社	
	株式会社オカムラ	
	大王製紙株式会社	
	株式会社トップ精工	
	日本製紙株式会社	
	電気・ガス・熱供給・水道業	カナディアンソーラー
		K&Oエナジーグループ【K&Oエナジーグループ(株) / 関東天然瓦斯開発(株) 大多喜ガス(株)】
		京葉ガス株式会社
		株式会社JERA

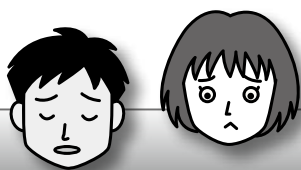
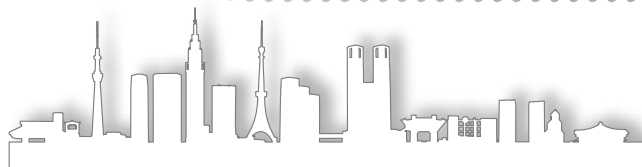
業種	企業名
電気・ガス・熱供給・水道業	東京ガス株式会社
	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社
	メタウォーター株式会社
情報通信業	アイアールユニバース株式会社
	アバナード株式会社
	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
	株式会社インテリジェントウェイブ
	S C S K株式会社
	株式会社NSP
	沖縄セルラー電話株式会社
	J F Eシステムズ株式会社
	株式会社システナ
	株式会社システムサポート
	株式会社スクワイア
	株式会社セック
	ソフトバンク株式会社
	株式会社ディー・エヌ・エー
	トレンドマイクロ株式会社
	農中情報システム株式会社
	パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
	株式会社日立ソリューションズ
	富士通株式会社
	株式会社ベリサーブ
株式会社マイクロアド	
楽天グループ株式会社	
運輸業・郵便業	イーグルシップマネジメント株式会社
	N R S株式会社
	N Sユナイテッド海運株式会社
	株式会社MTI
	川崎近海汽船株式会社
	鴻池運輸株式会社
	株式会社商船三井
	日本郵船株式会社
	ヤマト運輸株式会社
卸売業・小売業	Sky Art Defense Japan
	スターゼン株式会社
	ZHEJIANG HUAYOU COBALT CO., LTD
	ニチモウ株式会社
	株式会社日本アルコール販売
	株式会社ベニレイ
	丸紅ケミックス株式会社
	UNIQLO VIETNAM CO., LTD.
ルックスオティカジャパン株式会社	
金融業・保険業	宝ホールディングス株式会社
不動産業、物品賃貸業	株式会社ユニホー
学術研究、専門・技術サービス業	一般財団法人日本食品検査
	一般財団法人日本食品分析センター
	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構
	国立研究開発法人海洋研究開発機構
	国立研究開発法人水産研究・教育機構
	国立研究開発法人水産研究・教育機構・開発調査センター
	アジア航測株式会社
	アビームコンサルティング株式会社
	いであ株式会社
	インテムコンサルティング株式会社

業種	企業名	
学術研究、専門・技術サービス業	株式会社エイト日本技術開発	
	LRQAリミテッド	
	合同会社t&t合同会社 / t&t LLC	
	後藤興業株式会社	
	株式会社シー・アイ・シー	
	総合地質調査株式会社	
	日本工営株式会社	
	株式会社野村総合研究所 (N R I)	
	パシフィックコンサルタンツ株式会社	
	P w Cあらた有限責任監査法人	
株式会社ヘルスケアシステムズ		
宿泊業、飲食サービス業	株式会社スーパーストックトーキョー	
教育、学習支援業	ウォータールー大学	
	Khulna University, Bangladesh	
	浙江海洋大学	
	国立大学法人東京海洋大学	
	ナミビア大学	
	バトウアカリ科学技術大学	
	マンスーラ大学	
	独立行政法人海技教育機構	
	太地町立くじらの博物館	
	独立行政法人国立印刷局	
複合サービス事業	全国漁業協同組合連合会	
独立行政法人中小企業基盤整備機構		
日本生活協同組合連合会		
サービス業	一般財団法人材料科学技術振興財団	
	企業名不明 (詳細不明)	
	W D B株式会社 エウレカ社	
	公益財団法人日本財団	
	一般財団法人日本海事協会	
	地方共同法人 日本下水道事業団	
	一般社団法人日本冷蔵倉庫協会	
	M o d i s 株式会社	
	公務	海上保安庁
		外務省
環境省		
気象庁		
気象庁東京管区気象台		
国土交通省 関東地方整備局		
水産庁		
農林水産省		
愛知県庁		
茨城県教育委員会		
千葉県庁		
東京都		
新潟県		
広島県庁		
福岡県庁		
山口県庁		
横浜検疫所		



学生相談室からの

お知らせ



学生相談室について

学生相談（カウンセリング）

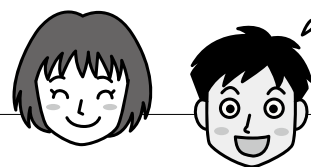
学生生活、進路、対人関係で悩みがある場合は、専門カウンセラーが相談に応じます。

話をしてみることで、あるいは自分の思いを表現してみることで、思いのほか気持ちが楽になったり、次

への展開へのきっかけが見つかったりもするものです。相談内容についての秘密は厳守されています。

なお、曜日が変更となる場合がありますので、HPをご確認ください。

品川キャンパス



場 所	大学会館1階学生相談室
日 時	詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。
相 談 員	井上先生（女性：臨床心理カウンセラー・月曜日担当） 高橋先生（女性：臨床心理カウンセラー・火曜日担当）
予約方法	メールでご予約ください。 メール s-counseling@o.kaiyodai.ac.jp

越中島キャンパス

場 所	越中島会館1階 学生相談室
日 時	水・金曜日 12:00～16:00 詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。
相 談 員	善積先生（女性：臨床心理カウンセラー・水曜日担当） 河崎先生（女性：臨床心理カウンセラー・金曜日担当）
予約方法	直接相談室においでくださるか、保健管理センターでご予約ください。 1. 窓口にて 2. 電話 03-5245-7357（保健管理センター事務室） 3. メール e-hoken@o.kaiyodai.ac.jp

令和5年度 学生支援教員

1年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	岩田 繁 英	宮本 隆 典	
	食品生産科学科	イヴァンベレストニオ	田中 誠 也	
	海洋政策文化学科	大河内美香	今村 圭 介	
海洋工学部	海事システム工学科	小橋 史 明	石橋 篤	松本 洋 平
	海洋電子機械工学科	桑田 敬 司	大島 浩 太	地下 大 輔
	流通情報工学科	遠藤 伸 明	坂井 孝 典	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	片野 俊 也	呉 海 云	
	海洋資源工エネルギー学科	上野 公 彦	淵田 茂 司	

2年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	矢澤 良 輔	小祝敬一郎	
	食品生産科学科	渡邊 学	耿 婕 婷	
	海洋政策文化学科	大野 美 砂	工藤 貴 史	
海洋工学部	海事システム工学科	陶山 貢 市	増田 光 弘	福田 巖
	海洋電子機械工学科	清水 悦 郎	木船 弘 康	盛田 元 彰
	流通情報工学科	森下 稔	橋本 英 樹	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	鈴木 直 樹	今 孝 悦	
	海洋資源工エネルギー学科	稲津 大 祐	三島 由 夏	

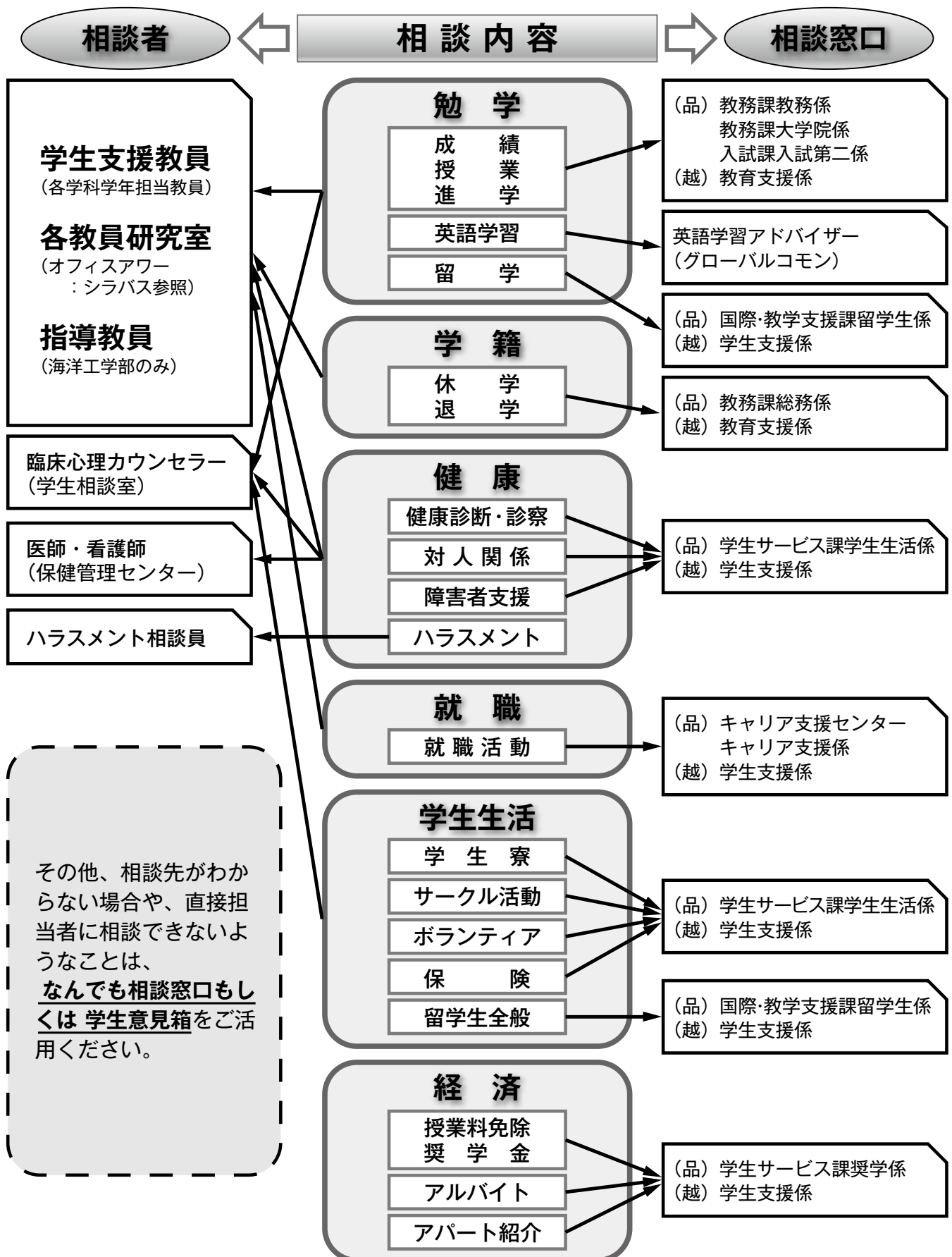
3年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	近藤 秀 裕	加藤 豪 司	
	食品生産科学科	小山 寛 喜	長阪 玲 子	
	海洋政策文化学科	中原 尚 知	原田 幸 子	
海洋工学部	海事システム工学科	近藤 逸 人	榎野 純	内田 洋 子
	海洋電子機械工学科	田原 淳 一 郎	藤野 俊 和	米田 昇 平
	流通情報工学科	中川 雄 二	関口 良 行	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	神谷 充 伸	中島 主 恵	溝端 浩 平
	海洋資源工エネルギー学科	内田 圭 一	鶴我佳代子	

4年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	寺原 猛	壁谷 尚 樹	
	食品生産科学科	松本 隆 志	高橋 希 元	
	海洋政策文化学科	柿原 泰	松井 隆 宏	
海洋工学部	海事システム工学科	村井 康 二	田村 祐 司	古谷 雅 理
	海洋電子機械工学科	大貫 等	小池 雅 和	井原 智 則
	流通情報工学科	久保 幹 雄	竹縄 知 之	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	高橋 美 穂	村瀬 弘 人	森 直 文
	海洋資源工エネルギー学科	谷 和 夫	井田 徹 哉	

本学の学生相談体制について



お知らせ

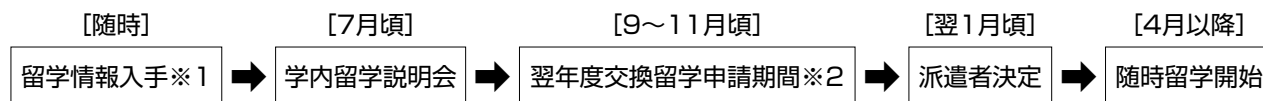
交換留学をしてみませんか？

新入生の皆さん、在学生の皆さん、新年度はいかがお過ごしでしょうか。

さて、東京海洋大学では2023年5月現在、世界の16カ国・地域の49大学と交換留学に関する協定（学生交流協定）を締結しています。交換留学とは、協定校へ3か月～最長1年間留学できる制度で、協定に基づき「受け

入れ大学は入学科、授業料を徴収しない」「留学先で取得した単位は、審査のうえ本学の単位に認定できる」「協定校から生活面、教育面での指導や、宿舍申請のサポートを受けられる」ほか、「専門的な講義を履修できる」など、個人的に語学学校などへ留学するのに比べて様々なメリットがあります。皆さんもぜひ留学してみませんか？

◆毎年の申請の流れ



※1 本学担当窓口で配布する「留学の手引き」や各協定校のHPをご覧ください。

※2 留学開始時期によっては、申請期間後も受け付けることがあります。

◆留学できる大学（2023年5月1日現在）

（中国）ハルビン商業大学、大連海洋大学、上海海洋大学、広東海洋大学、浙江海洋大学、大連海事大学、上海海事大学、中国海洋大学、集美大学、華東理工大学、華東師範大学、香港大学生物科学学院（台湾）台湾海洋大学、国立高雄科技大学、台湾大学理学院（韓国）釜慶大学校、全南大学校、韓国海洋大学校、木浦海洋大学校、釜山大学校、江原大学校（インドネシア）ボゴール農科大学、ハサヌディン大学、ディポネゴロ大学（フィリピン）サンカルロス大学（タイ）カセサート大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソンクラ大学、マエファラン大学、マヒドン大学、ワライラック大学（ベトナム）カントー大学、ハノイ工科大学（カナダ）ヴィクトリア大学（オーストラリア）タスマニア大学（トルコ）エーゲ大学、イスタンブール大学、チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学、ムーラ・シツウキ・コシマン大学水産学部（アイスランド）アイスランド大学、アクレイリ大学（ノルウェー）ノルウェー北極大学、ノルウェー科学技術大学、スタバング大学理工学部、ノード大学（ペルー）ラ・モリーナ国立農業大学（ブラジル）サンパウロ大学（アルゼンチン）サンマルティン大学（ナミビア）ナミビア大学

◆交換留学の担当窓口

（品川キャンパス）学務部国際・教学支援課留学生係

（越中島キャンパス）越中島地区事務室学生支援係

申請可能な留学支援の奨学金について（返済不要）

【学内の奨学金】

①東京海洋大学海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金（V種）

【学外の奨学金】

②日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）

③文部科学省トビタテ!留学JAPAN

※2023年度以降の募集の有無については窓口にお尋ねください。

※上記以外の一般的な奨学金（（独）日本学生支援機構の第1種、第2種奨学金等）を受給している場合、必ず留学前に大学に相談してください。事前手続きをしないと返納になることがあります。

国立科学博物館および国立美術館の利用について

本学は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ」および「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しております。

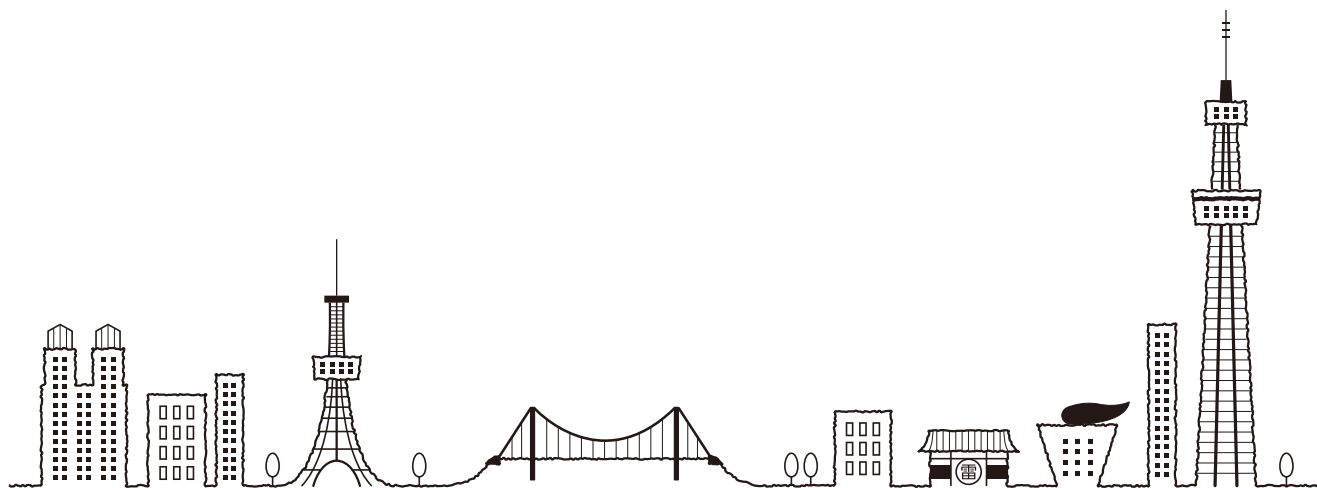
◆国立科学博物館 大学パートナーシップ利用可能施設

施設名	住 所
国立科学博物館(上野本館)	東京都台東区上野公園7-20
附属自然教育園	東京都港区白金台5-21-5
筑波実験植物園	茨城県つくば市天久保4-1-1

本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が無料で利用できるほか、特別展・企画展を割引料金で鑑賞できるなどの特典があるので、ぜひご利用ください。

◆国立美術館 キャンパスメンバーズ利用可能施設

施設名	住 所
東京国立近代美術館	東京都千代田区北の丸公園3-1
国立西洋美術館	東京都台東区上野公園7-7
国立新美術館	東京都港区六本木7-22-2
国立映画アーカイブ	東京都中央区京橋3-7-6
国立工芸館 (東京国立近代美術館工芸館)	石川県金沢市出羽町3-2



緊急時連絡システムについて

(さくら連絡網)

1. 緊急時連絡システムとは

本学のすべての学生・教職員と緊急時に連絡をとるためのメール・LINE・アプリによる配信システムです。

- ①台風・地震等の自然災害やインフルエンザ流行等による**緊急の休講等**を連絡します。
- ②**災害時の安否確認**や健康状態の収集手段としても使用します。
- ③その他、掲示板で告知するお知らせの中で緊急性があり重要と判断するお知らせ等の連絡をします。

2. 登録方法

携帯電話・スマートフォン等の携帯端末や自宅PC等の**複数のメールアドレス（4件まで）**、LINE、アプリも登録できます。**必ず登録してください。**

3. 登録手順

(1) さくら連絡網登録用QRコードまたはURLにアクセスします。

QRコードはこちら →



URLはこちら → <http://390390.jp>

URLを直接入力した場合は、
認証コードの入力を求められます。
認証コード：204 441 4

(2) 連絡を受け取りたい方法を**【LINE】**、**【アプリ】**、**【メール】**から選びます。（※3種類とも登録できます。）

(3) **【LINE】**を選んだ場合

- ①LINEの友だち追加ボタンから登録（追加）します。（トークから登録開始）
- ②認証コード：204 441 4を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【アプリ】を選んだ場合

- ①さくら連絡網のアプリをインストールします。
- ②アプリを起動して、認証コード：204 441 4を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【メール】を選んだ場合

- ①登録用メール送信画面に切り替わるので、そのまま送信します。（※メール本文は変更しないでください。）
- ②さくら連絡網からメールで登録用のURLが届きます。
- ③URLにアクセスして、登録画面からIDとパスコードを入力します。

(4) メニュー画面（以下、マイページといいます）が表示されたら登録完了です。

4. メール受信時の注意

- ①緊急時連絡システムは、メール、LINE、を受信者が開封したかどうかの確認ができるシステムです。
また、アンケート形式で安否確認を行う場合もあります。
受信した場合は、必ず開封し、内容を確認した後、指示に従って回答して下さい。
- ②登録用メールが届かない場合は、ドメイン指定受信に「school-i.net」を追加登録してください。
- ③マイページ (<https://390390.jp/parent/menu>) をブックマーク（スマートフォンの場合はホーム画面に追加）しておく、後日、メールアドレスの変更等を行う際に便利です。また、簡単ログイン設定をしておく、次回からワンクリックでマイページにアクセスできます。
- ④配信先の変更を希望する場合やアドレス自体を変更した場合は、マイページのメニューの「連絡先を追加」から新し

い連絡先を追加するとともに、「登録情報確認」から古い連絡先を削除してください。

- ⑤ログインID、パスコードは、各自で管理して下さい。（入学時に配布します。）
- ⑥パスコードを紛失した場合は、以下の問合せ先へご連絡ください。
- ⑦緊急時連絡システムは、大学からの送信専用アドレスです。
上記のアンケート形式での回答以外は、大学側では内容の確認ができませんのでご注意ください。

5. 個人情報の取り扱いに関して

緊急時連絡システムにご登録いただいたメールアドレス等、個人情報に関しては本学個人情報保護規則に則り厳正な取り扱いをいたします。また、上記の目的に限り使用し、他の目的で使用することはありません。

EMERGENCY CONTACT SYSTEM

“さくら連絡網 (SAKURA RENRAKUMOU REGISTRATION)”

What is the Emergency Contact System?

The purpose of this system is to contact students, professors and university staff members by email in the following cases:

1. to inform them when classes are suddenly canceled due to a natural disaster (typhoon, earthquake), a flu epidemic or other reasons
2. to gather information about the safety and health of university members after a disaster
3. to disseminate urgent and important information displayed on the university's notice boards

How to register

Please register multiple mail addresses (up to Four) or LINE or other apps from mobile terminals such as mobile phones, smart phones, and home PCs in order to confirm sure and prompt correspondence from the university in an emergency. Please be sure to register.

Registration process

1. Access the QR code or URL for Sakura Renrakumou Registration.

QR code



URL

<http://390390.jp>

* If you enter the URL directory, “authentication code” will be required.
authentication code: 204 441 4

2. Choose the method by which you would like to receive information from the university: “LINE,” “app” or “Email.”

* You can also register all three.

3. If you choose “**LINE**”.

- ① register (add) from LINE's Add Friends button. (i.e., start from the “Talk” page).
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose “**app**”.

- ① Install the Sakura Renrakumou app.
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose “**Email**”.

- ① the page moves to the sending registration mail screen; please send an email.
*Please do not change the body of the mail.
- ② receive the registration email from Sakura Renrakumou.
- ③ access the URL and enter the ID and passcode on the registration screen.

4. Registration is completed when the menu screen is displayed.

Notes

- The system is configured to detect whether recipients have accessed their messages. It is also used to gather information about the safety of the registered community through questionnaires. When you receive it, please ensure that you open the message and reply according to the instructions.
- If you fail to receive the registration form after sending the registration email, please check your mobile phone's spam filter settings. Add the domain name school-i.net to your list of authorized contacts.
- Add the system login page (<https://390390.jp/parent/login>) to your bookmarks to easily access your email and passcode settings.
- Manage your ID and passcode carefully, and make sure that you change your passcode after logging in for the first time. (ID and passcode is distributed at the time of enrollment)
- To change your delivery settings, register a new email address.
- If you forget your passcode, contact the responsible section using the contact details below.
- The system is a send-only address. The university cannot receive emails sent to this address.

Privacy policy

Email addresses and other personal information registered on the system are strictly protected according to the university's privacy policy. The system is used exclusively for the purposes stated above.

Contact

General Affairs Department, General Affairs Division
Email: so-soumu@o.kaiyodai.ac.jp Tel: 03-5463-0354

重要!

ネットワーク障害防止のための注意事項

キャンパス内で、ネットワーク停止が頻発しています。
研究室内の配線の点検をお願いします。

ループ状にケーブルを接続しない

ケーブルの両端をネットワーク機器に接続すると、出口のない通信パケットがネットワーク内で増大し、フロア全体や建屋全体が通信不能になるなどの重大な障害が引き起こされます。利用しないケーブルは機器から取り外してください。



古いハブ、壊れた LAN ケーブルを使用しない

古くなったプラスチック製のハブ(HUB、Switch)は、熱暴走等でフロア全体の通信障害の原因となることがあります。壊れた配線やコネクタの損傷も通信トラブルの原因になる場合があります。導入後の年数や破損状況を確認し、適宜、買い替えましょう。

→ **金属製ケースのハブがオススメ**です。放熱に優れ、安定して長く使えます。
詳しい型番などは下記窓口にお問い合わせください。

研究室内のルータの設定・接続を正しく行う

研究室で個別に設置したブロードバンドルータ、無線 LAN ルータの DHCP 機能の誤設定により、フロアや建屋全体での通信障害につながる場合があります。ネットワークケーブルが正しく接続されているかを点検してください。

→ **「WAN」「LAN」を間違えると障害が発生します!**

古い OA タップの使用、定格電流を超えた使用や、タコ足配線は**火災の原因**になりますので、注意してください。



注意

PC は最新の状態にアップデートしてください

OS の脆弱性を狙ったウイルスによる情報漏えい被害が世界的に報告されています。利用している OS やウイルス対策ソフトを常に最新の状態を保つようにしてください。私有のノート PC でも、大学配布のウイルス対策ソフトをインストールすることができますので、是非活用してください。

Windows XP、Vista、7、8、8.1、Mac OSX、macOS の古いバージョンは、メーカーサポートが終了しています。これらの OS をお使いの場合は速やかに最新の OS に更新してください。
現在利用可能な OS は、Windows 11、Windows 10、最新バージョンの macOS です。

PC 等を廃棄する際はデータの消去をしてください

廃棄するパソコン等からの情報流出を防ぐため、ハードディスク、SSD 等の記録媒体の破壊装置、消去装置を利用してください。下記窓口にお持ちください。

情報システムに関する全学問合せ窓口

メール ict-support@o.kaiyodai.ac.jp 内線 0446

附属図書館(品川) 1階事務室内 (担当: 全学 ICT サポート)

大学配布ソフトウェアの入手方法 <https://sites.google.com/site/kaiyonet2016/>

Important!



Precautions for Preventing Network Failure

Network outages occur frequently on campus.
Check the wiring inside the research office.

Do not connect the cable in a loop (as in the picture.)

Connecting both ends of a cable to network equipment can cause serious obstacles. For example, communication packets without an exit increase within the network, making the entire floor or building unreachable. Remove unused cables from the equipment.



Do not use old hubs or broken LAN cables

An old plastic hub (HUB, Switch) may cause communication failure of the entire floor due to thermal runaway. Damaged wires and connector damage may also cause communication trouble. Check the years of use and state of damage and replace as necessary.

→ A hub with a metal case is recommended. It is stable, long-lasting, and provides excellent heat dissipation. For a detailed model number, contact the Inquiry Center given at the bottom of this page.

Set up and connect the router in the office correctly.

Misconfiguration of the DHCP function on the broadband router and wireless LAN router individually installed in the offices may lead to communication failure on the floor or the entire building. Check that the network cable is properly connected.

→ If "WAN" and "LAN" are confused, network failure will result! Use of old OA taps, use exceeding the rated current, and use of power strips may cause fire. Beware.



Caution

Optimize your PC with the latest updates



Information leakage due to viruses targeting OS vulnerabilities is reported worldwide. Make sure that the operating system and antivirus software you are using are kept up to date. Even on a private notebook PC, you can install the university-distributed antivirus software. Take advantage of it by all means. Manufacturer support has ended for Windows XP, Vista, 7, 8, 8.1 Mac OS X, and old versions of mac OS. Update to the latest OS promptly if using these OS. The currently available OS are Windows 11, Windows 10, and the latest version of mac OS.

Delete data when discarding a PC, etc.

To prevent information leakage from discarded personal computers, etc., use data destruction and erasure devices for recording media such as hard disks and SSDs. Please bring them to the following counter:

Information System Inquiry Center

Email ict-support@o.kaiyodai.ac.jp Extension 0446

TUMSAT Library (Shinagawa) Office, first floor

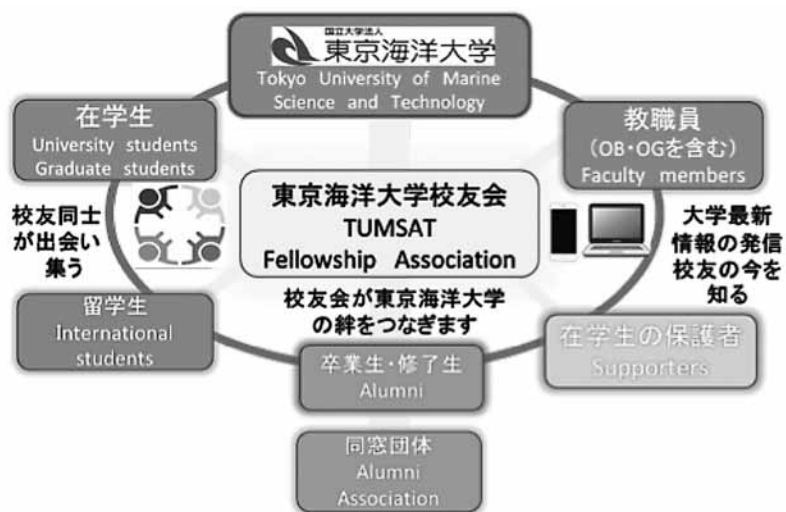
To obtain University distribution software, contact: <https://sites.google.com/site/kaiyonet2016/>

東京海洋大学校友会のご案内

Q1.「東京海洋大学校友会」とは何ですか？

東京海洋大学は、2017年4月の新学部「海洋資源環境学部」設立を機に国内における唯一の海洋系大学として体制を強固にしました。

今後、社会全体に強くその存在をアピールしていくため、2018年4月、全学的に「校友」同士の交流を活発化させ、本学の発展に寄与することを目的として、「東京海洋大学校友会」を発足しました。



Q2.「校友」とは誰ですか？

東京海洋大学および東京水産大学、東京商船大学等前身校の卒業生、在學生、在學生・卒業生の保護者、教職員の皆さまです。ホームカミングデーや「校友」限定イベントも企画し、「校友会ホームページ」や「校友会メルマガ」でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

Q3.「校友会ホームページ」とは何ですか？アカウントはいつ貰えますか？

SNS機能、校友会メルマガ、公認課外活動団体ポータルサイトや会員限定動画サイトなど様々な機能を備えた「校友」限定ホームページです。「校友」の皆さまには個別アカウントを配布しております。(登録及び会費は無料です。)



海洋大の「今」が分かるコンテンツや情報を発信していきます。試行的にInstagramも開始しました。実際にアクセスしてみてください。



(校友会ホームページ) QRコード

【アカウント取得方法】

- 新入生の皆様：ご入学後、大学から付与されるメールアドレス（～@edu.kaiyodai.ac.jp）宛に校友個人のID・パスワードを配布しています。一度、アクセスしてみてください。
- 保護者の方・卒業生の方：校友会ホームページの「新規登録」ボタンから申請をお願いいたします。校友会事務局で内容を確認後、ID・パスワードを送付いたしますので、分かる箇所は可能な限りご入力をお願いいたします。（在籍確認の関係上、申請いただいた後、少々お時間をいただいでの対応となることがあります。）

また、本学卒業生を支援する同窓組織として「楽水会」「海洋会」があります。

本学卒業生との強固なネットワークを築いておりますので、ぜひご加入ください。

楽水会：<http://rakusui.or.jp/>

海洋会：<http://www.kaiyo-kai.com/>

校友会に関する問合せ先：

東京海洋大学校友会事務局

電話番号：03-5463-4014

メールアドレス：koyukai@o.kaiyodai.ac.jp

掲 示 版

SNS、ツイッター、ブログ等の利用に関する注意事項

Facebookやツイッターに代表されるSNS（ソーシャルネットワークサービス）、あるいはブログなどを利用していると思いますが、インターネット上に書き込んだ内容は全世界に公開されることとなります。

転載・拡散された場合等には、長期間ネット上に残り、何らかのきっかけで問題となることがあります。SNSなどインターネットへの書き込み、写真や映像の掲載・投稿には十分注意し、個人情報は書き込まないようにしてください。

何か困ったことがあれば、周りの人に相談するようにしてください。SNSの公式サイトヘルプや問合せ窓口なども参考にしてください。

闇バイトに注意

SNSに投稿されたアルバイト情報の中には、犯罪の手伝いをさせられるなど、危険なものも潜んでいます。怪しげな情報にだまされないよう注意してください。「#裏バイト」「#高額バイト」等のハッシュタグがいっぱい並ぶ投稿は、誰がどう見ても怪しく、雇用主や仕事内容の記載がなければ無視し、関心を持つのは危険です。好条件をエサに接触を待つ、勧誘目的で友達申請をする等、悪意の仕掛けはさまざまです。友人・知人が発信した情報でも、また聞きや再投稿の可能性があります。安易な連絡は絶対にやめてください。詐欺の受け子等は使い捨て、見つかって逮捕されることや、犯人グループとトラブルになるケースもあります。手っ取り早く稼ぎたい、スリルを味わいたいという気持ちで罪を犯すことのないよう十分注意してください。

薬物の乱用について

薬物の乱用は、本人の精神と身体に危害を及ぼします。また、友人や家族関係の崩壊にもつながるなど、本人だけでなく、社会全体に計り知れない影響をもたらします。このため、薬物の所持や使用は法律で禁止されており、違反者は厳罰に処せられます。

薬物に対して安易な気持ちや一時の興味で接することのないよう十分注意してください。

盗難に注意

下記の事項を守り、自己管理を徹底してください。

- ・貴重品は、できる限り大学には持参しないでください。
- ・やむを得ず所持する場合は、各自でロッカーに鍵をかけて管理してください。
- ・鍵は安易に解錠出来ないもの（ダイヤル式など）を選んでください。

悪質商法等に注意

消費者契約等に関するトラブルが増加しています。うまい話には要注意です。少しでも疑問を感じたら契約しないでください。また、身に覚えのない請求などは支払わないでください。

訪問販売や電話勧誘販売など、特定の取引の場合に、一定期間内ならば理由を問わず解約できるクーリング・オフ制度があります。もしも被害に遭ってしまったときは消費生活センターに相談してください。

カルト団体等の偽装勧誘に注意

キャンパス内において、自らが宗教団体であることを名乗ることなく、サークル活動や自主ゼミと称し、特定の反社会的なカルト団体に引き込まうとする「偽装勧誘」の事例があります。

声を掛けられておかしいと感じた場合はキッパリと断り、安易に電話番号、メールアドレス等を交換しないでください。また、不審な団体と感じたとき、あるいは勧誘活動を受けた場合は、学生生活係、学生支援係まで知らせてください。

飲酒についての注意事項

(1) 未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

アルコールには麻酔作用があるので、未成年者が飲み方や適量もわからず無理に飲むと、急性アルコール中毒を起こしやすいといわれています。もし、誰かに勧められても、きちんと断ることが大切です。

(2) 飲酒の強要は絶対にしないこと。

20歳未満やお酒に弱い方にお酒を強要することは絶対にしないでください。

(3) 飲酒運転は厳禁です。

「道路交通法」では飲酒運転のほか、飲酒者への車両の提供、運転者への酒類の提供、飲酒運転の車への同乗についても禁止されており、厳しい罰則が課せられます。

